

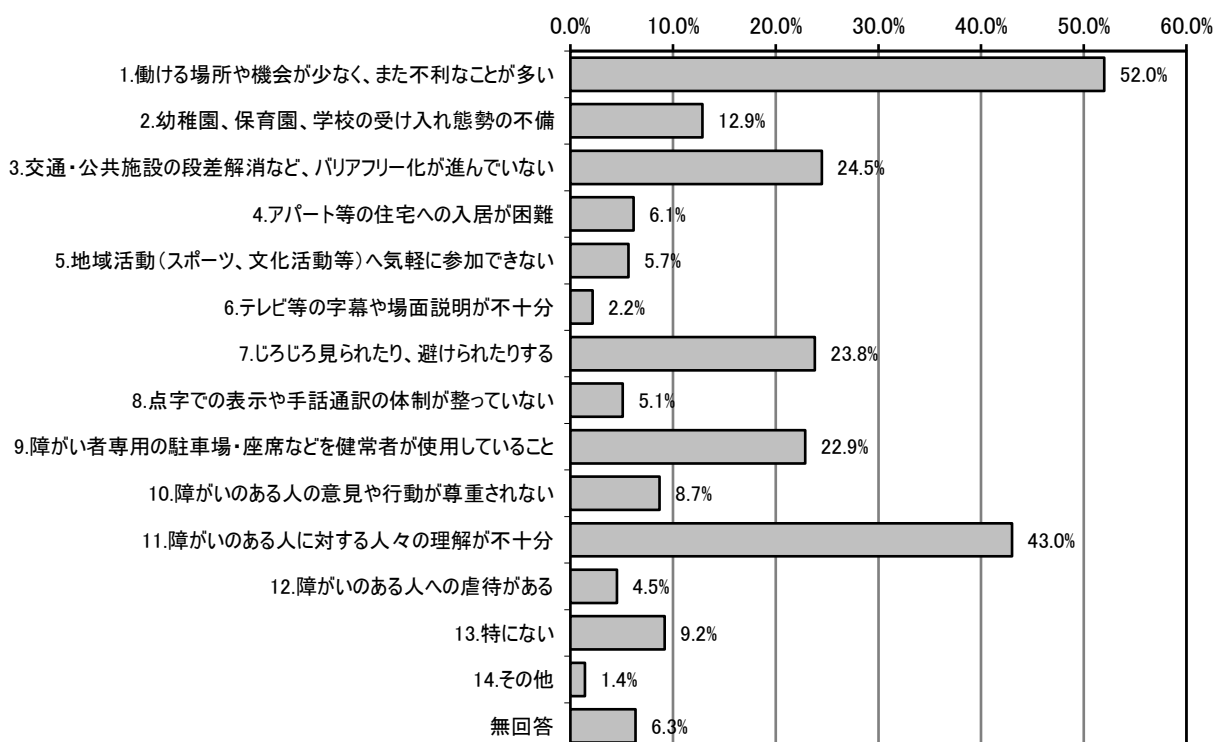
## 5 障がいのある人の人権について

問14 障がいのある人の人権で尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	働ける場所や機会が少なく、また不利なことが多い	52.0%	59.2%
2	幼稚園、保育園、学校の受け入れ態勢の不備	12.9%	17.9%
3	交通・公共施設の段差解消など、バリアフリー化が進んでいない	24.5%	21.9%
4	アパート等の住宅への入居が困難	6.1%	6.7%
5	地域活動(スポーツ、文化活動等)へ気軽に参加できない	5.7%	7.5%
6	テレビ等の字幕や場面説明が不十分	2.2%	2.5%
7	じろじろ見られたり、避けられたりする	23.8%	23.3%
8	点字での表示や手話通訳の体制が整っていない	5.1%	6.0%
9	障がい者専用の駐車場・座席などを健常者が使用していること	22.9%	
10	障がいのある人の意見や行動が尊重されない	8.7%	10.1%
11	障がいのある人に対する人々の理解が不十分	43.0%	48.4%
12	障がいのある人への虐待がある	4.5%	
13	特になし	9.2%	10.1%
14	その他	1.4%	0.7%
	無回答	6.3%	6.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	52.0%	57.5%	47.3%	52.5%	54.7%	56.0%	57.6%	57.6%	57.0%	44.2%	37.5%
2	12.9%	12.2%	13.8%	7.5%	20.9%	15.5%	16.9%	14.6%	15.8%	7.3%	0.0%
3	24.5%	21.8%	27.1%	20.0%	14.0%	25.0%	16.1%	30.6%	30.7%	23.3%	25.0%
4	6.1%	7.1%	5.1%	10.0%	2.3%	7.1%	5.9%	6.9%	7.0%	6.3%	6.3%
5	5.7%	6.8%	4.4%	10.0%	5.8%	3.6%	5.9%	4.9%	9.2%	4.2%	6.3%
6	2.2%	2.4%	2.2%	0.0%	0.0%	1.2%	3.4%	2.1%	1.3%	3.1%	0.0%
7	23.8%	22.4%	24.9%	25.0%	43.0%	31.0%	28.0%	25.7%	21.1%	17.3%	31.3%
8	5.1%	5.1%	4.9%	7.5%	1.2%	7.1%	5.1%	6.9%	5.7%	4.2%	12.5%
9	22.9%	24.6%	22.0%	15.0%	18.6%	29.8%	25.4%	23.6%	25.0%	20.2%	18.8%
10	8.7%	9.4%	8.2%	7.5%	11.6%	10.7%	5.1%	11.1%	9.6%	7.6%	0.0%
11	43.0%	46.2%	39.8%	50.0%	54.7%	52.4%	49.2%	45.8%	40.8%	36.9%	37.5%
12	4.5%	4.7%	4.7%	0.0%	10.5%	9.5%	4.2%	6.3%	3.1%	2.6%	0.0%
13	9.2%	10.0%	8.7%	5.0%	2.3%	3.6%	4.2%	2.1%	7.5%	17.3%	6.3%
14	1.4%	1.1%	1.8%	0.0%	2.3%	1.2%	2.5%	0.7%	0.4%	1.8%	0.0%
無回答	6.3%	4.7%	6.9%	17.5%	4.7%	0.0%	1.7%	3.5%	6.6%	9.4%	31.3%

## 障がいのある人の人権で尊重されていないと思うこと



### <全体結果>

障がいのある人の人権で尊重されていないと思うことについては、「働ける場所や機会が少なく、また不利なことが多い」が最も多く、5割を超えている。次いで「障がいのある人に対する人々の理解が不十分」が4割台で続いている。前回調査と比べ、回答項目を増やしたため全体的に減少している。

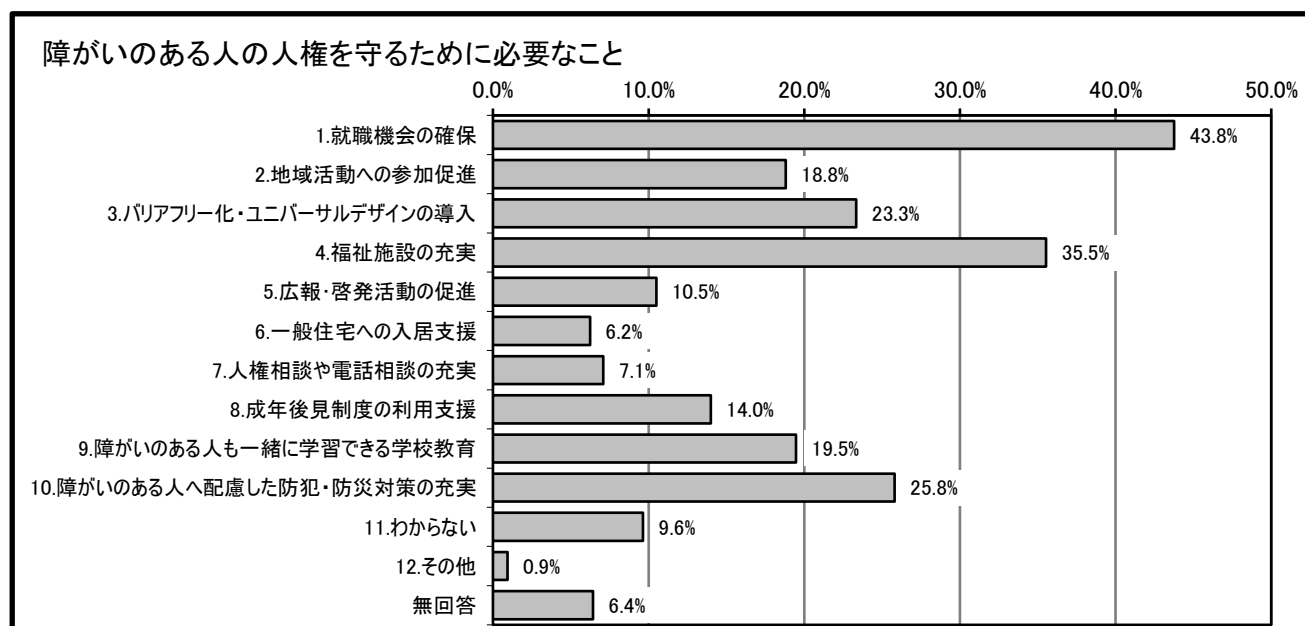
### <性別・年代別>

男女別では、「働ける場所や機会が少なく、また不利なことが多い」の割合は男性の方が高くなっている。年代別では、「交通・公共施設の段差解消など、バリアフリー化が進んでいない」は50代と60代で、「じろじろ見られたり、避けられたりする」は20代で、他年代層よりも高くなっている。また、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分」の割合は、30代以下の割合が高く5割を超え、70代の割合が3割強と低くなっている。

問15 障がいのある人の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。  
(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	就職機会の確保	43.8%	48.5%
2	地域活動への参加促進	18.8%	22.5%
3	バリアフリー化・ユニバーサルデザインの導入	23.3%	
	バリアフリー化の促進		22.3%
4	福祉施設の充実	35.5%	37.8%
5	広報・啓発活動の促進	10.5%	8.6%
6	一般住宅への入居支援	6.2%	3.1%
7	人権相談や電話相談の充実	7.1%	8.5%
8	成年後見制度の利用支援	14.0%	12.4%
9	障がいのある人も一緒に学習できる学校教育	19.5%	26.4%
10	障がいのある人へ配慮した防犯・防災対策の充実	25.8%	19.4%
11	わからない	9.6%	9.1%
12	その他	0.9%	0.5%
	無回答	6.4%	5.2%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	43.8%	46.4%	42.0%	37.5%	57.0%	47.6%	49.2%	47.9%	46.9%	35.9%	18.8%
2	18.8%	20.1%	17.8%	17.5%	17.4%	20.2%	25.4%	18.8%	21.5%	15.4%	12.5%
3	23.3%	23.1%	23.8%	20.0%	22.1%	35.7%	19.5%	28.5%	27.6%	17.5%	25.0%
4	35.5%	36.3%	35.1%	32.5%	22.1%	29.8%	31.4%	41.0%	35.1%	39.3%	37.5%
5	10.5%	15.2%	7.3%	0.0%	12.8%	16.7%	7.6%	13.2%	11.4%	8.4%	0.0%
6	6.2%	7.1%	5.6%	5.0%	10.5%	7.1%	5.9%	4.2%	6.1%	6.3%	0.0%
7	7.1%	6.8%	7.3%	7.5%	5.8%	2.4%	5.9%	5.6%	7.5%	9.2%	6.3%
8	14.0%	13.2%	14.4%	17.5%	20.9%	13.1%	16.9%	19.4%	11.4%	11.3%	12.5%
9	19.5%	19.4%	19.5%	20.0%	19.8%	25.0%	19.5%	16.0%	21.9%	18.6%	6.3%
10	25.8%	27.6%	24.4%	25.0%	26.7%	20.2%	23.7%	22.9%	29.8%	25.7%	37.5%
11	9.6%	9.4%	10.0%	7.5%	7.0%	8.3%	8.5%	4.2%	9.6%	13.1%	6.3%
12	0.9%	0.6%	1.3%	0.0%	4.7%	2.4%	1.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6.4%	4.9%	6.9%	17.5%	3.5%	0.0%	2.5%	2.1%	7.0%	9.9%	31.3%



### <全体結果>

障がいのある人の人権を守るために必要なことについては、「就職機会の確保」をあげる人が最も多く4割台となっている。次いで「福祉施設の充実」が3割台、「障がいのある人へ配慮した防犯・防災対策の充実」、「バリアフリー化・ユニバーサルデザインの導入」が2割台で続いている。前回調査と比べ、「障がいのある人へ配慮した防犯・防災対策の充実」が増加し、「障がいのある人も一緒に学習できる学校教育」は減少している。

### <性別・年代別>

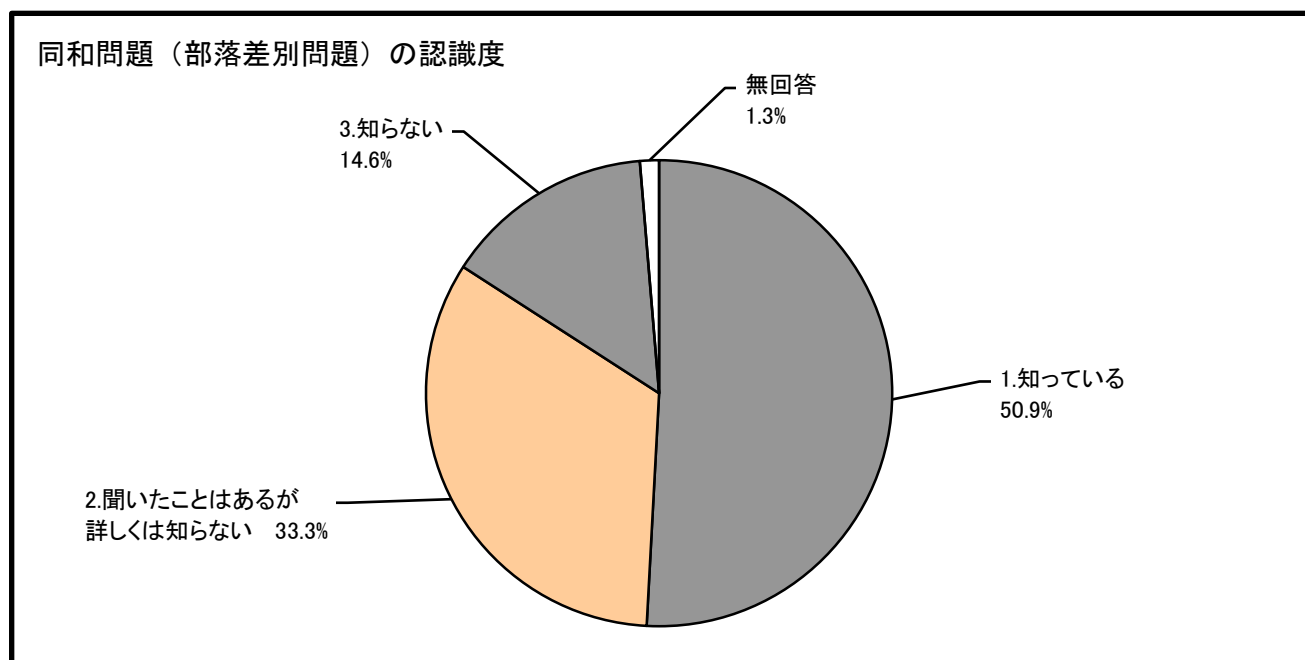
男女別では、「広報・啓発活動の促進」の割合は男性の方が高くなっている。年代別では、「就職機会の確保」の割合は、20代で高く6割弱となっている。「福祉施設の充実」の割合は、50代が高く、20代の割合が低くなっている。

## 6 同和問題（部落差別問題）について

問16 あなたは、日本の社会に同和問題(部落差別問題)などといわれる問題があることを知っていますか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	知っている	50.9%	48.4%
2	聞いたことはあるが詳しくは知らない	33.3%	33.1%
3	知らない	14.6%	15.4%
	無回答	1.3%	3.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	50.9%	51.5%	51.3%	37.5%	39.5%	31.0%	41.5%	51.4%	61.4%	55.2%	25.0%
2	33.3%	34.0%	32.4%	37.5%	38.4%	46.4%	37.3%	36.1%	26.3%	30.6%	43.8%
3	14.6%	14.1%	14.7%	17.5%	20.9%	22.6%	21.2%	12.5%	12.3%	11.5%	12.5%
無回答	1.3%	0.4%	1.6%	7.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	18.8%



### <全体結果>

同和問題(部落差別問題)の認識度については、「知っている」と「聞いたことはあるが詳しくは知らない」の合計の割合が、8割を超えている。  
前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

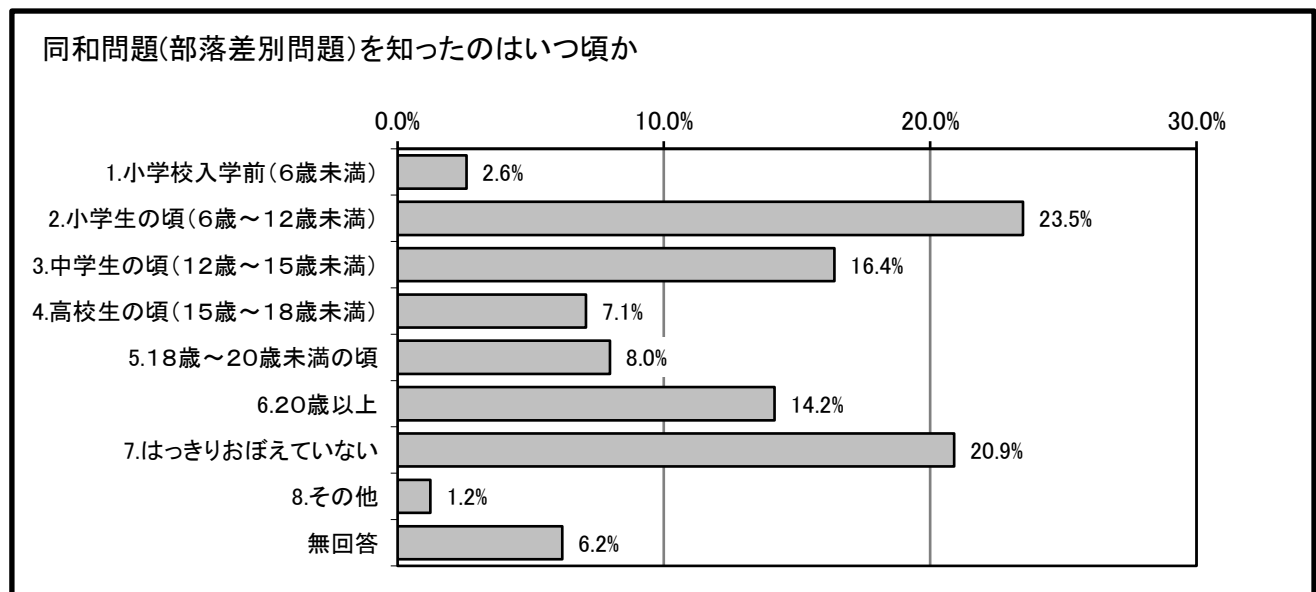
### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、「知らない」の割合が40代以下で比較的高く、2割を超えている。

問17 同和問題(部落差別問題)について、あなたがはじめて知った(聞いた)のは、いつ頃ですか。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	小学校入学前(6歳未満)	2.6%	4.6%
2	小学生の頃(6歳～12歳未満)	23.5%	23.9%
3	中学生の頃(12歳～15歳未満)	16.4%	17.6%
4	高校生の頃(15歳～18歳未満)	7.1%	7.2%
5	18歳～20歳未満の頃	8.0%	8.5%
6	20歳以上	14.2%	16.9%
7	はっきりおぼえていない	20.9%	19.4%
8	その他	1.2%	0.5%
	無回答	6.2%	1.4%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	2.6%	1.8%	3.5%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	2.4%	3.0%	3.7%	0.0%
2	23.5%	19.0%	27.4%	23.3%	35.8%	33.8%	36.6%	25.4%	19.0%	17.4%	18.2%
3	16.4%	18.8%	14.8%	10.0%	29.9%	13.8%	8.6%	15.1%	21.5%	14.3%	0.0%
4	7.1%	8.8%	6.1%	0.0%	9.0%	12.3%	8.6%	7.9%	6.0%	5.8%	0.0%
5	8.0%	8.3%	8.0%	3.3%	3.0%	1.5%	2.2%	6.3%	11.0%	10.7%	9.1%
6	14.2%	15.8%	12.8%	13.3%	4.5%	15.4%	16.1%	14.3%	16.5%	14.0%	9.1%
7	20.9%	20.5%	20.7%	30.0%	13.4%	21.5%	23.7%	25.4%	14.5%	23.2%	36.4%
8	1.2%	0.5%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.7%	0.0%
無回答	6.2%	6.8%	4.8%	20.0%	3.0%	0.0%	4.3%	3.2%	7.5%	8.2%	27.3%



### <全体結果>

同和問題(部落差別問題)を知ったのはいつ頃かについては、「小学生の頃(6歳～12歳未満)」が最も多く2割強となっている。次いで「はっきりおぼえていない」が2割台、「中学生の頃(12歳～15歳未満)」、「20歳以上」が1割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

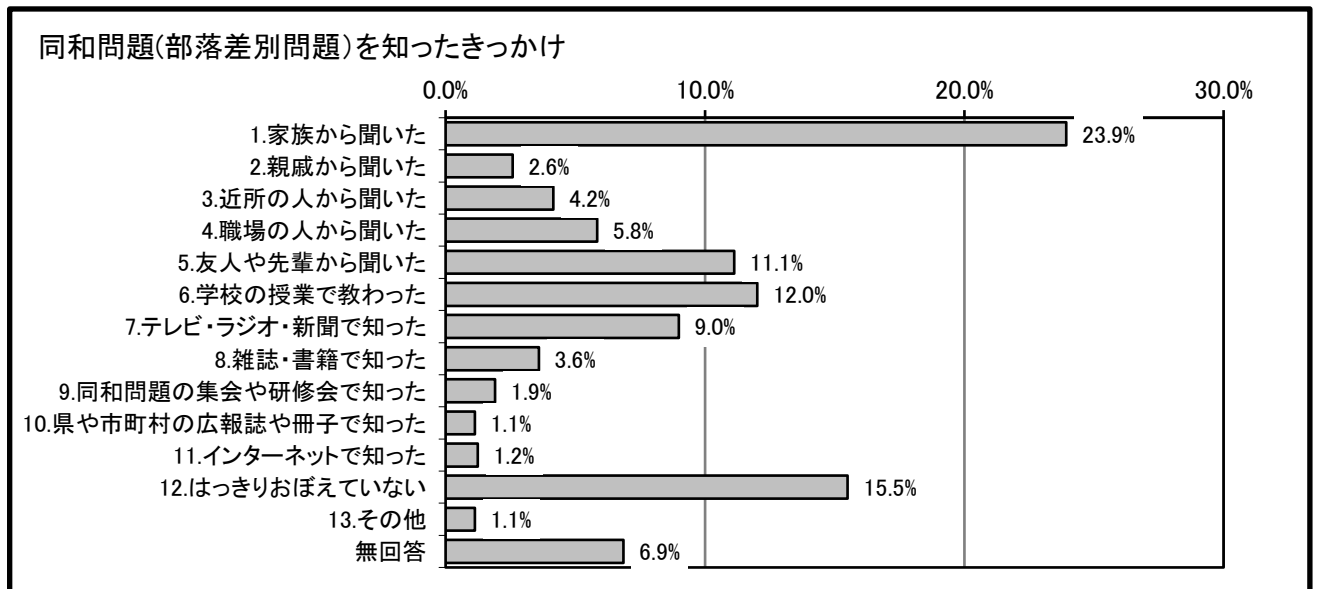
### <性別・年代別>

男女別では、「小学生の頃(6歳～12歳未満)」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「小学生の頃(6歳～12歳未満)」は40代以下で、「中学生の頃(12歳～15歳未満)」は20代で、「18歳～20歳未満の頃」は60代と70代で、他年代層よりも高くなっている。

問18 あなたが、同和問題(部落差別問題)をはじめて知った(聞いた)きっかけはどのようなことからでしたか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	家族から聞いた	23.9%	28.0%
2	親戚から聞いた	2.6%	1.8%
3	近所の人から聞いた	4.2%	4.8%
4	職場の人から聞いた	5.8%	6.4%
5	友人や先輩から聞いた	11.1%	14.4%
6	学校の授業で教わった	12.0%	8.4%
7	テレビ・ラジオ・新聞で知った	9.0%	11.1%
8	雑誌・書籍で知った	3.6%	4.6%
9	同和問題の集会や研修会で知った	1.9%	2.3%
10	県や市町村の広報誌や冊子で知った	1.1%	0.8%
11	インターネットで知った	1.2%	
12	はっきりおぼえていない	15.5%	14.4%
13	その他	1.1%	1.0%
	無回答	6.9%	2.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	23.9%	19.0%	28.7%	16.7%	17.9%	12.3%	21.5%	30.2%	28.0%	23.5%	18.2%
2	2.6%	2.3%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.8%	4.0%	4.0%	0.0%
3	4.2%	3.5%	4.8%	3.3%	1.5%	0.0%	1.1%	2.4%	3.5%	7.6%	0.0%
4	5.8%	7.3%	4.6%	6.7%	1.5%	6.2%	2.2%	7.9%	7.5%	5.8%	9.1%
5	11.1%	15.0%	7.8%	10.0%	3.0%	3.1%	10.8%	7.9%	11.0%	15.9%	9.1%
6	12.0%	11.0%	13.5%	3.3%	56.7%	30.8%	19.4%	7.9%	6.5%	2.4%	0.0%
7	9.0%	10.5%	7.0%	20.0%	4.5%	6.2%	9.7%	12.7%	7.0%	10.1%	9.1%
8	3.6%	2.3%	5.0%	0.0%	0.0%	4.6%	2.2%	3.2%	5.5%	3.7%	0.0%
9	1.9%	2.3%	1.7%	0.0%	1.5%	1.5%	3.2%	1.6%	3.5%	0.9%	0.0%
10	1.1%	2.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.8%	1.0%	1.8%	0.0%
11	1.2%	1.8%	0.9%	0.0%	3.0%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
12	15.5%	14.8%	16.3%	13.3%	6.0%	18.5%	18.3%	19.8%	12.5%	16.2%	18.2%
13	1.1%	1.0%	0.9%	6.7%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	2.5%	1.2%	0.0%
無回答	6.9%	7.5%	5.4%	20.0%	4.5%	4.6%	9.7%	3.2%	7.5%	7.0%	36.4%



### <全体結果>

同和問題(部落差別問題)を知ったきっかけについては、「家族から聞いた」が最も多く2割強となっている。次いで「はっきりおぼえていない」、「学校の授業で教わった」、「友人や先輩から聞いた」が1割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

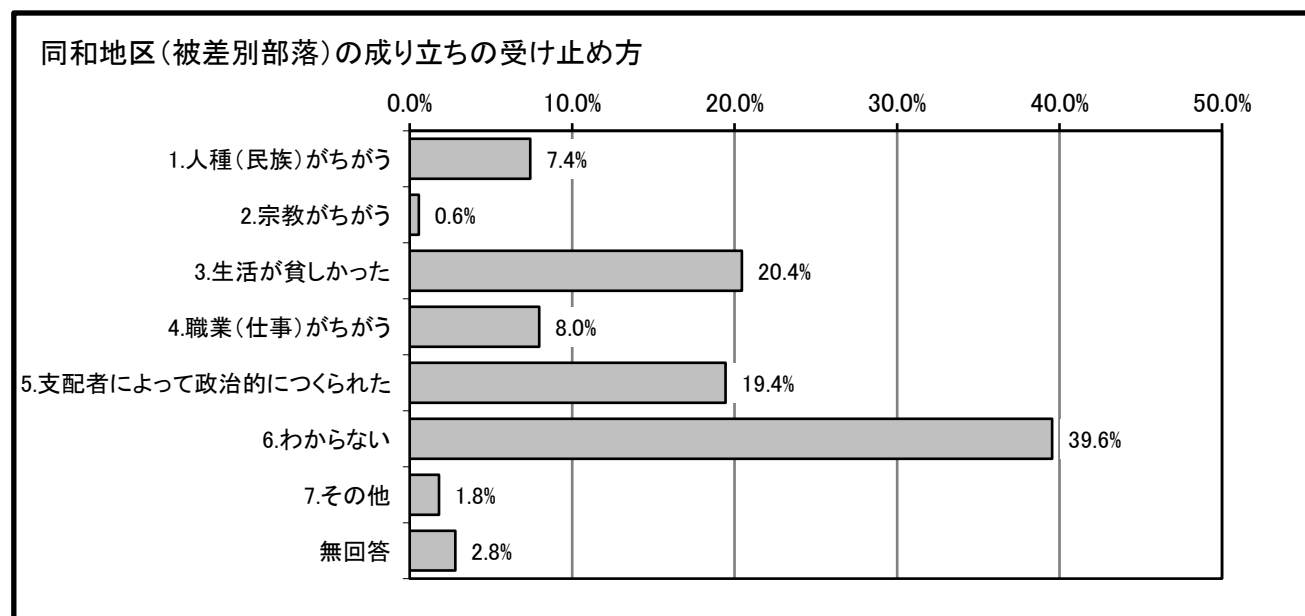
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「友人や先輩から聞いた」などの割合が女性より高く、女性は「家族から聞いた」などが男性より高くなっている。年代別では、「学校の授業で教わった」は20代と30代で、「インターネットで知った」は30代で、他年代層よりも高くなっている。

問19 あなたは、同和地区(被差別部落)の成り立ちについて、どのように受け止めていますか。  
次の中から選んでください。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	人種(民族)がちがう	7.4%	8.3%
2	宗教がちがう	0.6%	0.6%
3	生活が貧しかった	20.4%	18.4%
4	職業(仕事)がちがう	8.0%	6.4%
5	支配者によって政治的につくられた 江戸時代の身分制度によりつくられた	19.4%	28.8%
6	わからない	39.6%	33.3%
7	その他	1.8%	1.6%
	無回答	2.8%	2.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	7.4%	7.0%	8.0%	3.3%	10.4%	7.7%	6.5%	12.7%	5.5%	6.1%	9.1%
2	0.6%	0.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.0%	0.6%	0.0%
3	20.4%	23.3%	18.0%	20.0%	13.4%	16.9%	19.4%	20.6%	22.5%	21.0%	36.4%
4	8.0%	8.3%	7.8%	6.7%	19.4%	1.5%	4.3%	4.0%	9.5%	8.2%	18.2%
5	19.4%	21.8%	17.4%	20.0%	20.9%	18.5%	20.4%	19.8%	22.5%	17.4%	9.1%
6	39.6%	34.8%	43.3%	46.7%	31.3%	49.2%	43.0%	36.5%	36.0%	42.1%	27.3%
7	1.8%	1.5%	2.2%	0.0%	4.5%	4.6%	2.2%	2.4%	0.5%	1.2%	0.0%
無回答	2.8%	3.0%	2.6%	3.3%	0.0%	1.5%	3.2%	4.0%	2.5%	3.4%	0.0%



#### <全体結果>

同和地区(被差別部落)の成り立ちの受け止め方については、「わからない」が最も多く4割弱となっている。次いで「生活が貧しかった」が2割台、「支配者によって政治的につくられた」が1割台で続いている。前回の調査と比べ、「わからない」の割合は、6.3%増加している。

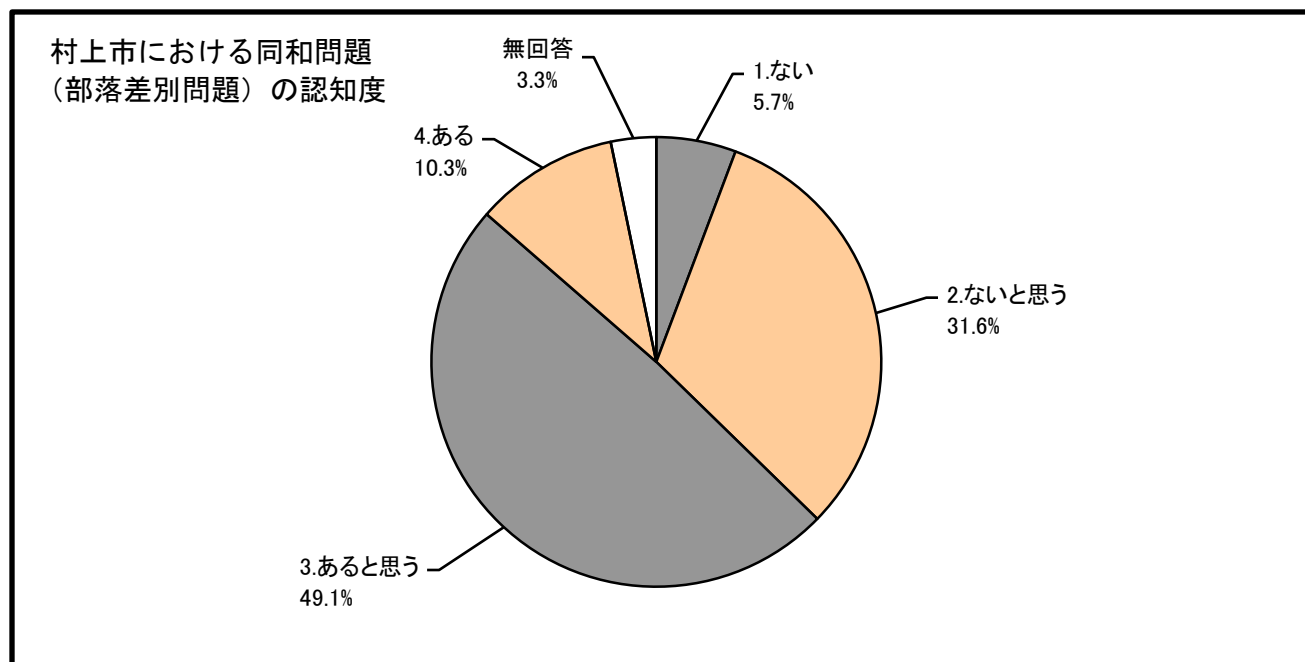
#### <性別・年代別>

男女別では、男性は「生活が貧しかった」などの割合が女性より高く、女性は「わからない」などが男性より高くなっている。年代別では、「職業(仕事)がちがう」の割合は20代で、他年代層よりも高くなっている。

問20 あなたは、村上市に同和問題(部落差別問題)があると思いますか。(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	ない	5.7%	6.0%
2	ないと思う	31.6%	28.0%
3	あると思う	49.1%	51.6%
4	ある	10.3%	11.6%
	無回答	3.3%	2.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	5.7%	5.5%	6.3%	0.0%	6.0%	3.1%	2.2%	4.0%	4.0%	8.8%	9.1%
2	31.6%	31.0%	31.7%	36.7%	46.3%	46.2%	26.9%	27.0%	27.0%	31.4%	36.4%
3	49.1%	47.8%	50.2%	50.0%	31.3%	40.0%	60.2%	52.4%	58.5%	44.5%	45.5%
4	10.3%	13.3%	7.8%	10.0%	16.4%	9.2%	7.5%	15.1%	9.5%	8.8%	9.1%
無回答	3.3%	2.5%	3.9%	3.3%	0.0%	1.5%	3.2%	1.6%	1.0%	6.4%	0.0%



#### <全体結果>

村上市における同和問題(部落差別問題)については、「あると思う」と「ある」の合計の割合が高く、6割弱を占めている。前回の調査と比べ、「あると思う」と「ある」の合計の割合は、3.8%減少している。

#### <性別・年代別>

男女別では、「ある」の割合は男性の方が高くなっている。

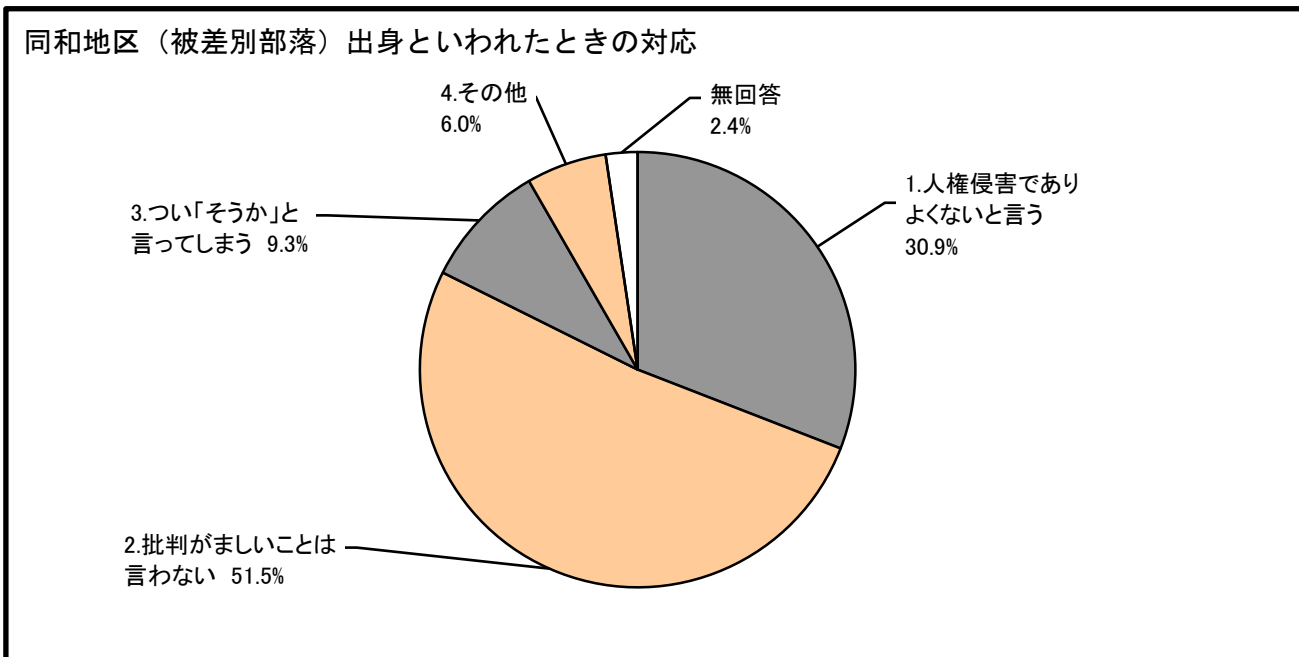
年代別では、「あると思う」と「ある」の合計の割合が40代と50代、60代で高く6割を超えている。また、20代と30代では、「あると思う」と「ある」の合計と「ない」と「ないと思う」の合計を比べ、大きな差は見られない。



問21 親しい友人から知り合いのAさんが同和地区(被差別部落)出身といわれたとき、あなたはどのように対応しますか。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	人権侵害でありよくないと言う	30.9%	29.7%
2	批判がましいことは言わない	51.5%	53.0%
3	つい「そうか」と言ってしまう	9.3%	8.8%
4	その他	6.0%	4.9%
	無回答	2.4%	3.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	30.9%	31.0%	31.7%	16.7%	29.9%	12.3%	24.7%	26.2%	33.0%	37.2%	27.3%
2	51.5%	52.0%	50.2%	63.3%	50.7%	63.1%	54.8%	51.6%	55.5%	45.4%	63.6%
3	9.3%	9.5%	8.7%	16.7%	9.0%	10.8%	9.7%	9.5%	7.5%	10.1%	9.1%
4	6.0%	4.8%	7.2%	3.3%	10.4%	12.3%	8.6%	10.3%	3.5%	3.0%	0.0%
無回答	2.4%	2.8%	2.2%	0.0%	0.0%	1.5%	2.2%	2.4%	0.5%	4.3%	0.0%



### <全体結果>

同和地区(被差別部落)出身といわれたときの対応については、「批判がましいことは言わない」の割合が半数を超えている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

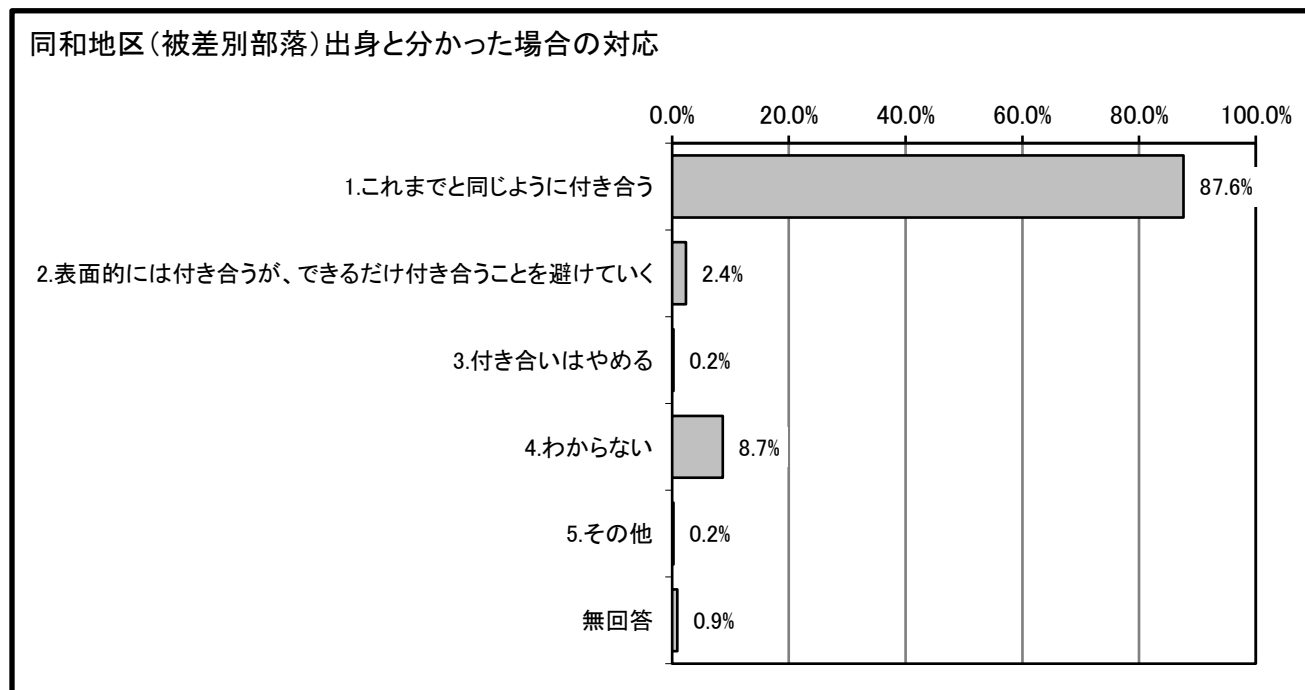
### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、「人権侵害でありよくないと言う」は60代と70代が高く、3割を超えている。30代では「批判がましいことは言わない」が、他年代層よりも高くなっている。

問22 親しく付き合っている人が同和地区(被差別部落)出身者とわかった場合、あなたはどうしますか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	これまでと同じように付き合う	87.6%	90.1%
2	表面的には付き合うが、できるだけ付き合うことを避けていく	2.4%	2.3%
3	付き合いはやめる	0.2%	0.0%
4	わからない	8.7%	5.9%
5	その他	0.2%	0.4%
	無回答	0.9%	1.3%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	87.6%	89.8%	85.9%	86.7%	94.0%	84.6%	87.1%	89.7%	92.0%	83.8%	81.8%
2	2.4%	2.0%	2.6%	3.3%	1.5%	0.0%	2.2%	4.0%	1.5%	2.7%	9.1%
3	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
4	8.7%	6.5%	10.4%	10.0%	4.5%	12.3%	10.8%	5.6%	6.0%	11.0%	9.1%
5	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
無回答	0.9%	1.5%	0.4%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.8%	0.5%	1.2%	0.0%



### <全体結果>

同和地区(被差別部落)出身と分かった場合の対応については、「これまでと同じように付き合う」の割合が9割弱を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

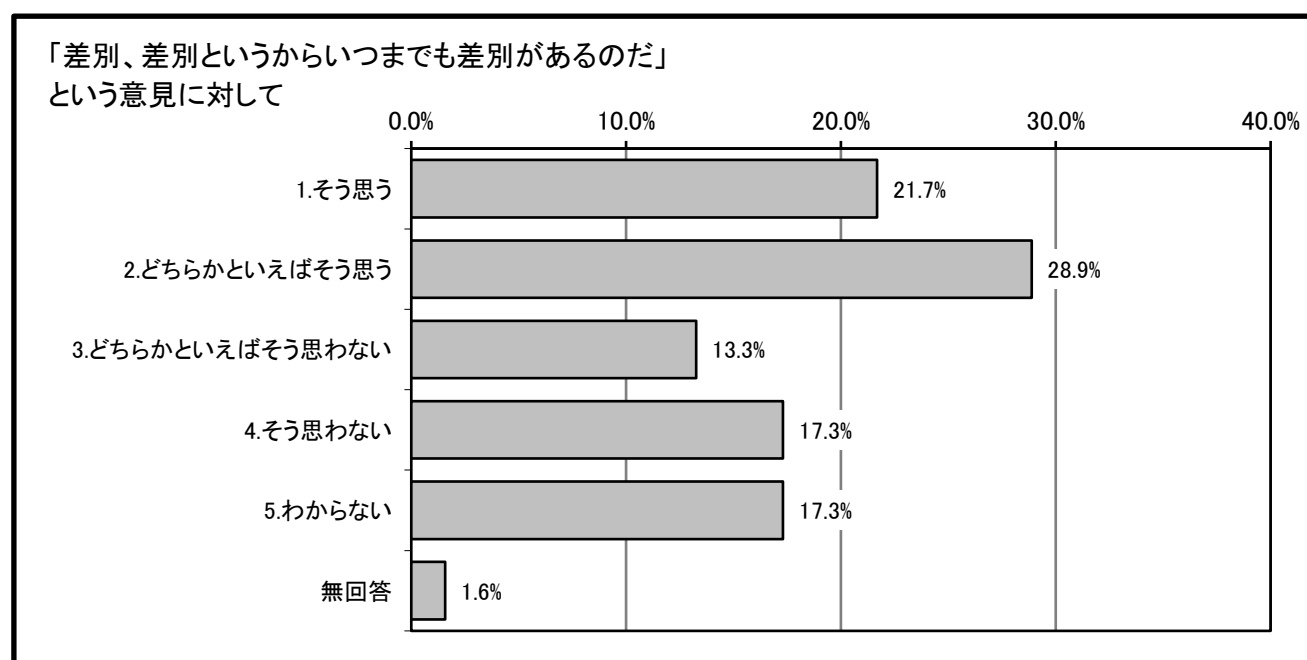
### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、「これまでと同じように付き合う」の割合は、20代と60代が高く、9割を超えている。「付き合いはやめる」は70代の0.6%以外は各年代で0%となっている。

問23 同和問題(部落差別問題)について、「差別、差別というから、いつまでも差別があるのだ。そっとしておけば部落差別は自然になくなる。」という意見があります。  
この意見に対して、あなたは、どう思いますか。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	21.7%	26.0%
2	どちらかといえばそう思う	28.9%	30.7%
3	どちらかといえばそう思わない	13.3%	12.0%
4	そう思わない	17.3%	15.7%
5	わからない	17.3%	14.2%
	無回答	1.6%	1.4%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	21.7%	20.3%	22.8%	23.3%	14.9%	10.8%	14.0%	11.1%	24.5%	29.6%	27.3%
2	28.9%	28.8%	28.9%	30.0%	34.3%	32.3%	34.4%	31.7%	22.0%	29.0%	18.2%
3	13.3%	14.0%	12.8%	10.0%	14.9%	16.9%	9.7%	15.9%	14.5%	11.6%	9.1%
4	17.3%	19.8%	15.7%	10.0%	26.9%	26.2%	21.5%	22.2%	18.5%	9.8%	18.2%
5	17.3%	15.5%	18.3%	26.7%	7.5%	12.3%	20.4%	18.3%	18.0%	18.3%	27.3%
無回答	1.6%	1.8%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	0.8%	2.5%	1.8%	0.0%



#### <全体結果>

「差別、差別というからいつまでも差別があるのだ」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が約5割を占めている。  
前回の調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、6.1%減少している。

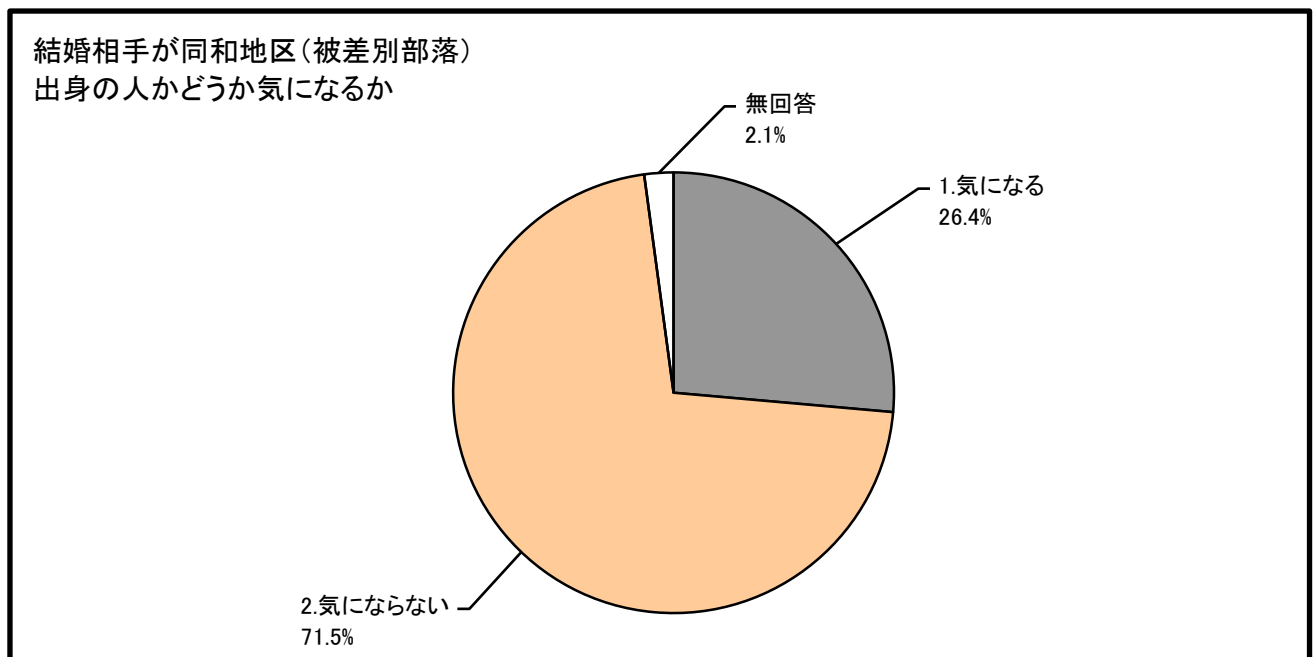
#### <性別・年代別>

男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は女性の方がやや高くなっている。  
年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、70代で最も高く、6割弱を占めている。

問24-1 あなた自身やあなたの子ども、あるいはあなたの身内が結婚しようとするとき、相手が同和地区(被差別部落)出身の人かどうか、あなたは気になりますか。  
また、その一番の理由をお聞かせください。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	気になる	26.4%	30.5%
2	気にならない	71.5%	66.2%
	無回答	2.1%	3.3%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	26.4%	24.3%	28.5%	23.3%	7.5%	15.4%	24.7%	35.7%	26.0%	30.2%	9.1%
2	71.5%	73.3%	69.6%	76.7%	92.5%	83.1%	75.3%	62.7%	72.5%	65.9%	90.9%
無回答	2.1%	2.5%	2.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	1.6%	1.5%	4.0%	0.0%



#### <全体結果>

結婚相手が同和地区(被差別部落)出身の人かどうか気になるかについては、「気にならない」の割合が7割強を占めている。前回の調査と比べ、「気にならない」の割合は、5.3%増加している。

※問22で「これまでと同じように付き合う」の割合は87.6%であったが、子どもや身内の結婚となると26.4%の人が「気になる」と回答している。

#### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

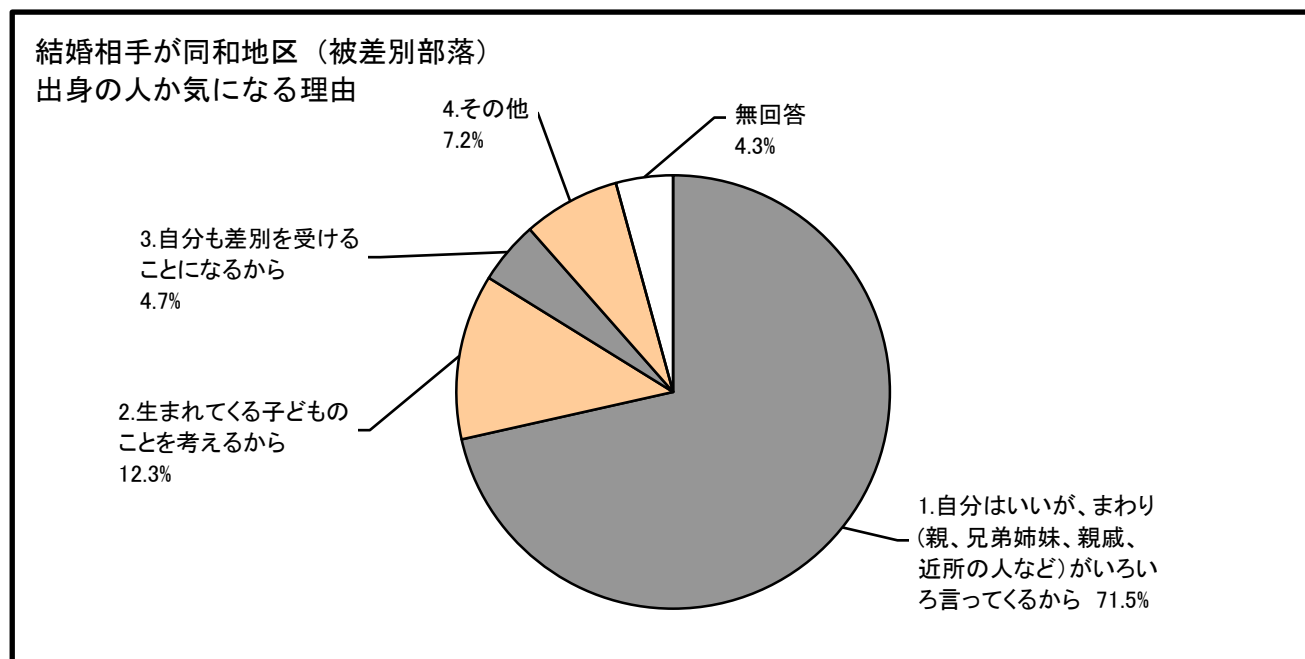
年代別では、「気にならない」の割合は、20代が高く、9割を超えている。

※問22で、20代は「これまでと同じように付き合う」の割合は94.0%となっている。

問24-2 気になる一番の理由は(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	自分はいいが、まわり(親、兄弟姉妹、親戚、近所の人など)がいろいろ言うてるから	71.5%	72.1%
2	生まれてくる子どものことを考えるから	12.3%	13.8%
3	自分も差別を受けることになるから	4.7%	3.5%
4	その他	7.2%	3.5%
	無回答	4.3%	7.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	235人	97人	131人	7人	5人	10人	23人	45人	52人	99人	1人
1	71.5%	72.2%	69.5%	100.0%	40.0%	70.0%	78.3%	64.4%	75.0%	72.7%	100.0%
2	12.3%	8.2%	16.0%	0.0%	40.0%	20.0%	4.3%	11.1%	15.4%	11.1%	0.0%
3	4.7%	5.2%	4.6%	0.0%	20.0%	0.0%	4.3%	4.4%	1.9%	6.1%	0.0%
4	7.2%	8.2%	6.9%	0.0%	0.0%	10.0%	13.0%	15.6%	1.9%	5.1%	0.0%
無回答	4.3%	6.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	5.8%	5.1%	0.0%



<全体結果>

結婚相手が同和地区(被差別部落)出身の人か気になる理由については、「自分はいいが、まわり(親、兄弟姉妹、親戚、近所の人など)がいろいろ言うてるから」の割合が7割強を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

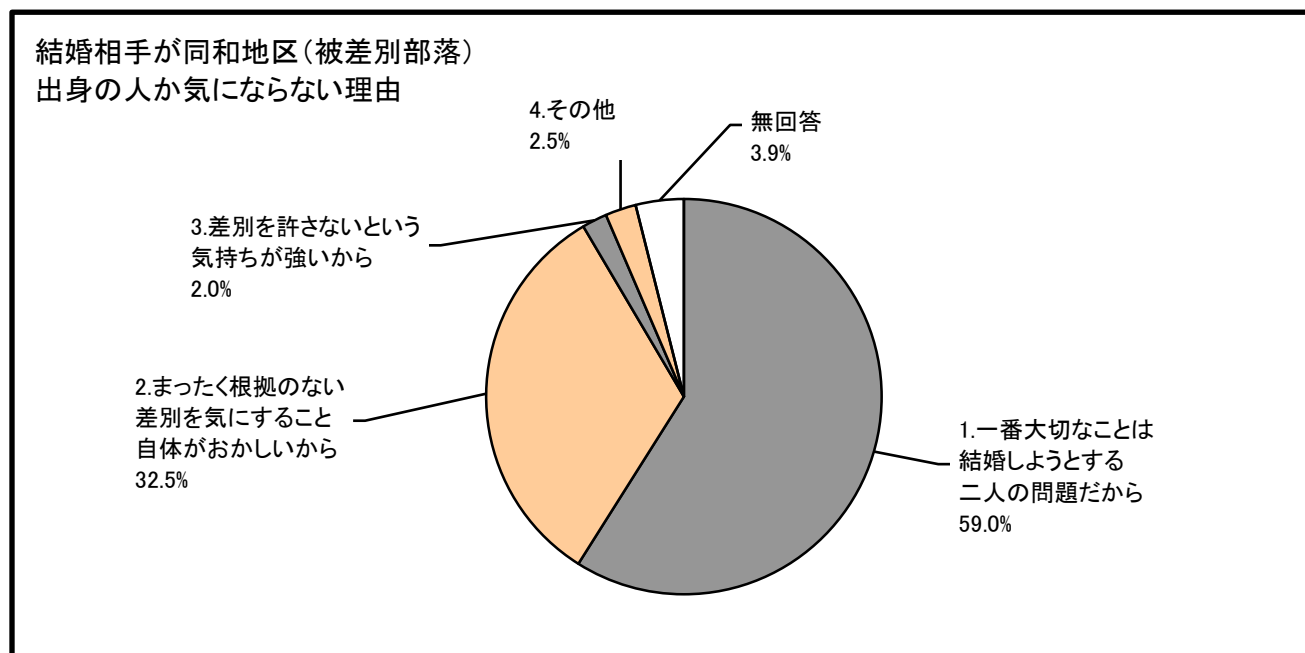
<性別・年代別>

男女別では、「生まれてくる子どものことを考えるから」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「自分はいいが、まわり(親、兄弟姉妹、親戚、近所の人など)がいろいろ言うてるから」の割合が各年代とも高い。

問24-3 気にならない一番の理由は(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	一番大切なことは結婚しようとする二人の問題だから	59.0%	59.7%
2	まったく根拠のない差別を気にすること自体がおかしいから	32.5%	30.7%
3	差別を許さないという気持ちが強いから	2.0%	3.4%
4	その他	2.5%	1.5%
	無回答	3.9%	4.7%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	636人	293人	320人	23人	62人	54人	70人	79人	145人	216人	10人
1	59.0%	57.0%	60.0%	69.6%	48.4%	59.3%	65.7%	48.1%	56.6%	65.7%	50.0%
2	32.5%	34.1%	31.9%	21.7%	43.5%	31.5%	31.4%	44.3%	34.5%	24.5%	30.0%
3	2.0%	2.7%	1.3%	4.3%	3.2%	0.0%	0.0%	1.3%	3.4%	2.3%	0.0%
4	2.5%	3.1%	1.9%	4.3%	3.2%	5.6%	1.4%	3.8%	1.4%	1.9%	10.0%
無回答	3.9%	3.1%	5.0%	0.0%	1.6%	3.7%	1.4%	2.5%	4.1%	5.6%	10.0%



<全体結果>

結婚相手が同和地区(被差別部落)出身の人が気にならない理由については、「一番大切なことは結婚しようとする二人の問題だから」が最も多く6割弱となっている。次いで「まったく根拠のない差別を気にすること自体がおかしいから」が3割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

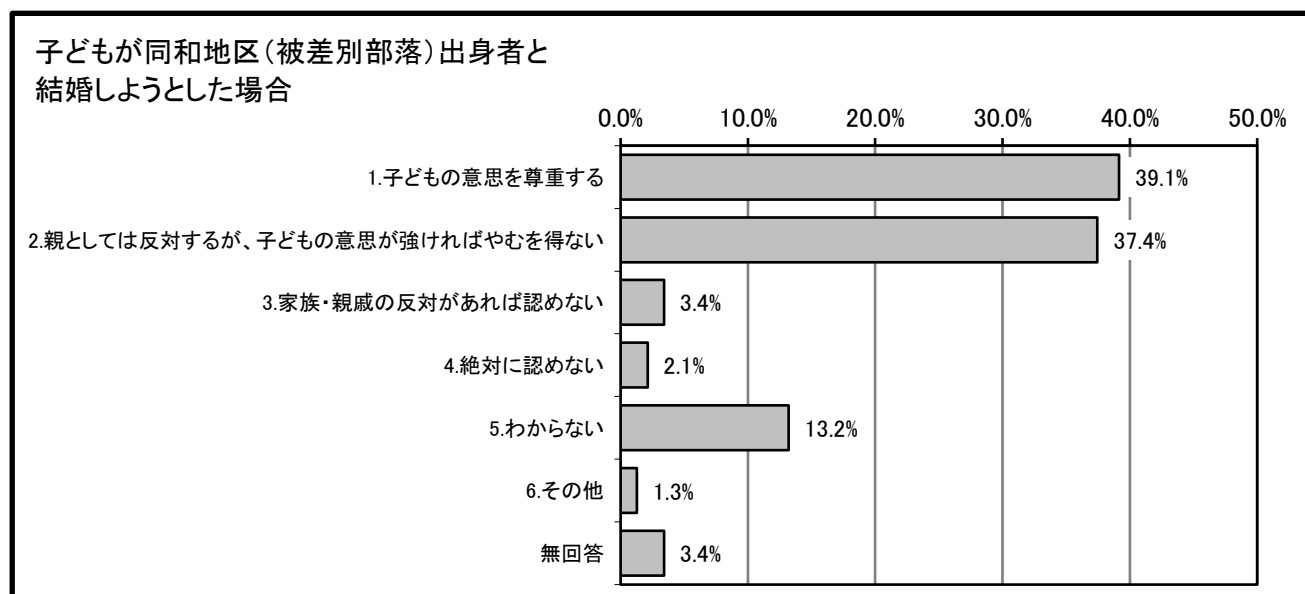
<性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、40代と70代では「一番大切なことは結婚しようとする二人の問題だから」、20代と50代では「まったく根拠のない差別を気にすること自体がおかしいから」が、他年代層よりも高くなっている。

問25 問24で「1気になる」とお答えの方にお聞きします。あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区(被差別部落)出身者であった場合、その結婚についてどのように思いますか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	子どもの意思を尊重する	39.1%	29.9%
2	親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない	37.4%	46.8%
3	家族・親戚の反対があれば認めない	3.4%	6.3%
4	絶対に認めない	2.1%	2.8%
5	わからない	13.2%	11.0%
6	その他	1.3%	1.6%
	無回答	3.4%	1.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	235人	97人	131人	7人	5人	10人	23人	45人	52人	99人	1人
1	39.1%	43.3%	35.1%	57.1%	40.0%	50.0%	47.8%	46.7%	38.5%	32.3%	100.0%
2	37.4%	34.0%	42.0%	0.0%	40.0%	20.0%	17.4%	31.1%	44.2%	43.4%	0.0%
3	3.4%	2.1%	4.6%	0.0%	20.0%	0.0%	4.3%	2.2%	1.9%	4.0%	0.0%
4	2.1%	3.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	1.9%	2.0%	0.0%
5	13.2%	12.4%	13.0%	28.6%	0.0%	30.0%	17.4%	13.3%	13.5%	11.1%	0.0%
6	1.3%	1.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%
無回答	3.4%	4.1%	2.3%	14.3%	0.0%	0.0%	8.7%	2.2%	0.0%	5.1%	0.0%



### <全体結果>

子どもが同和地区(被差別部落)出身者と結婚しようとした場合については、「子どもの意思を尊重する」が最も多く4割弱となっている。次いで「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」が3割台で続いている。前回の調査と比べ、「子どもの意思を尊重する」が増加し、「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」は減少している。

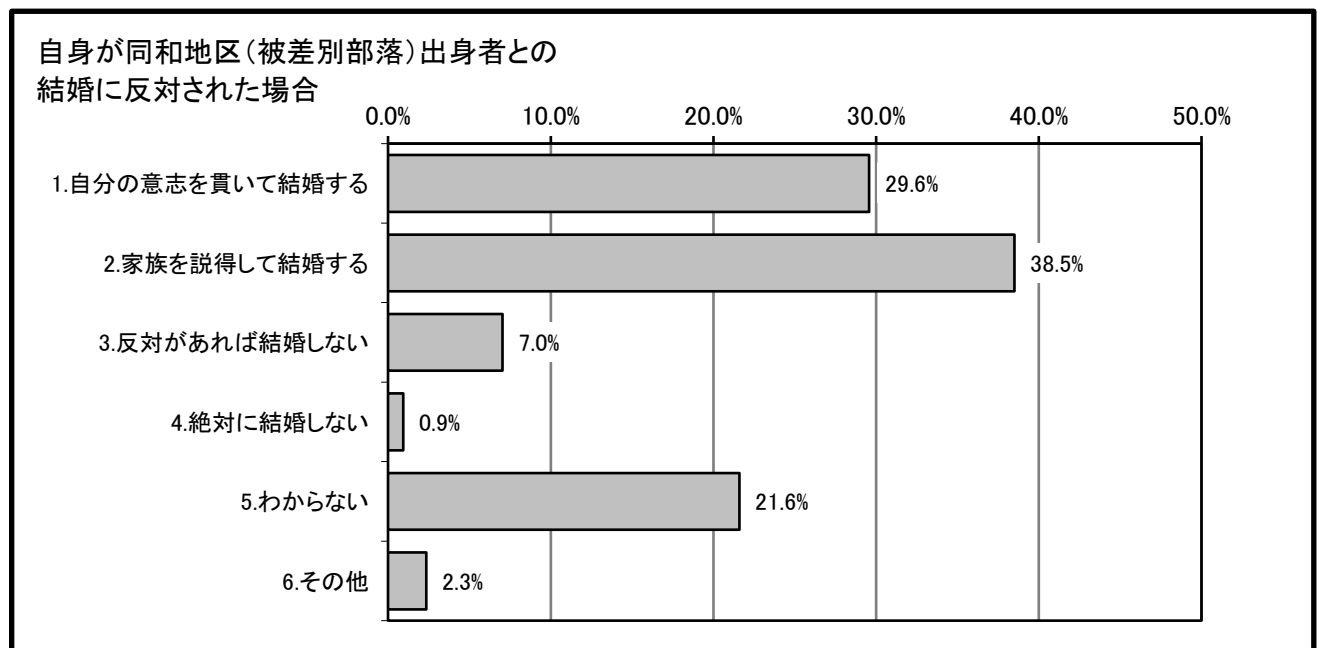
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「子どもの意思を尊重する」などの割合が女性より高く、女性は「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」などが男性より高くなっている。  
年代別では、30代と40代、50代では「子どもの意思を尊重する」、60代と70代では「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」が、他年代層よりも高くなっている。

問26 未婚の方にお聞きます。あなたが、同和地区(被差別部落)出身者と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けた場合、あなたはどのように思いますか。  
(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	自分の意志を貫いて結婚する	29.6%	32.9%
2	家族を説得して結婚する	38.5%	38.3%
3	反対があれば結婚しない	7.0%	6.6%
4	絶対に結婚しない	0.9%	0.6%
5	わからない	21.6%	19.8%
6	その他	2.3%	1.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	213人	106人	100人	7人	49人	23人	30人	22人	33人	53人	3人
1	29.6%	34.0%	26.0%	14.3%	20.4%	30.4%	33.3%	22.7%	45.5%	28.3%	33.3%
2	38.5%	34.0%	44.0%	28.6%	55.1%	39.1%	40.0%	36.4%	36.4%	26.4%	0.0%
3	7.0%	5.7%	8.0%	14.3%	6.1%	4.3%	3.3%	9.1%	0.0%	13.2%	33.3%
4	0.9%	0.9%	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
5	21.6%	23.6%	18.0%	42.9%	14.3%	26.1%	16.7%	31.8%	18.2%	26.4%	33.3%
6	2.3%	1.9%	3.0%	0.0%	2.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%



### <全体結果>

自身が同和地区(被差別部落)出身者との結婚に反対された場合については、「家族を説得して結婚する」が最も多く4割弱となっている。次いで「自分の意志を貫いて結婚する」、「わからない」が2割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年代別>

男女別では、男性は「自分の意志を貫いて結婚する」などの割合が女性より高く、女性は「家族を説得して結婚する」などが男性より高くなっている。  
年代別では、「自分の意志を貫いて結婚する」は60代で、「家族を説得して結婚する」は20代で、「わからない」は50代で、他年代層よりも高くなっている。

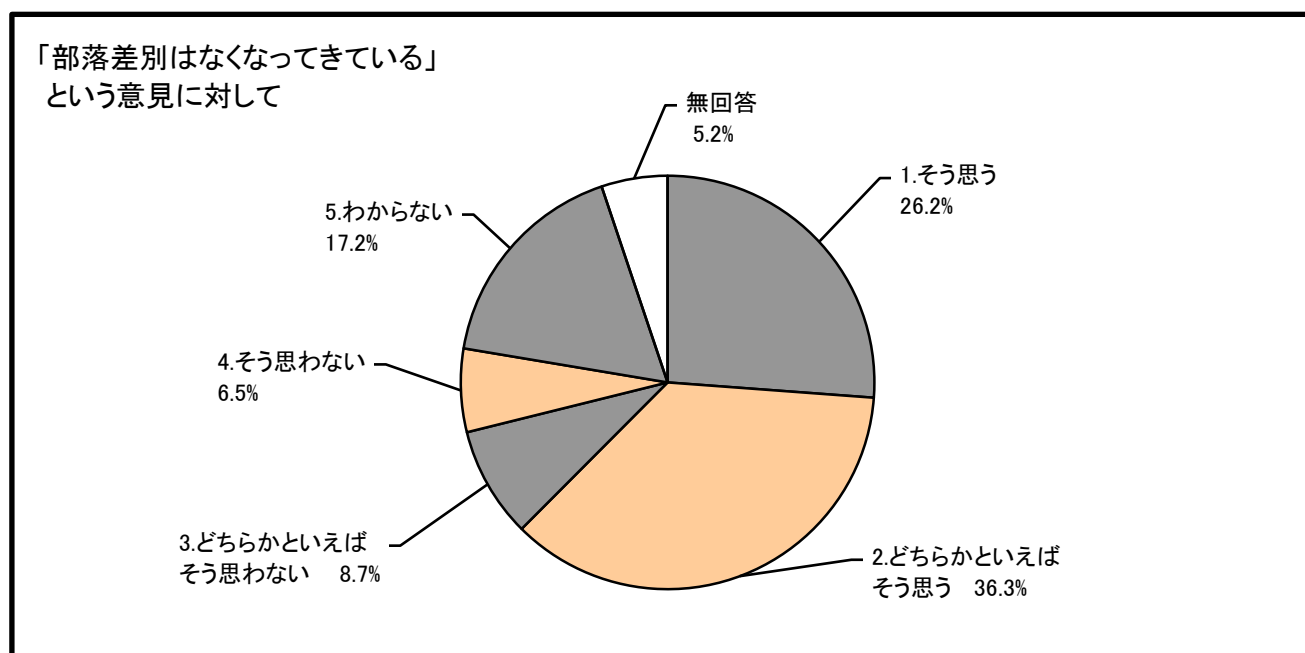


問27-1 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 部落差別はなくなってきている。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	26.2%	28.6%
2	どちらかといえばそう思う	36.3%	37.7%
3	どちらかといえばそう思わない	8.7%	7.3%
4	そう思わない	6.5%	8.2%
5	わからない	17.2%	14.2%
	無回答	5.2%	4.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	26.2%	27.3%	25.7%	20.0%	13.4%	15.4%	20.4%	16.7%	22.0%	38.7%	27.3%
2	36.3%	34.0%	38.9%	26.7%	31.3%	38.5%	38.7%	45.2%	38.0%	31.7%	36.4%
3	8.7%	9.5%	8.0%	6.7%	16.4%	6.2%	7.5%	11.1%	11.0%	5.8%	0.0%
4	6.5%	8.0%	5.4%	3.3%	9.0%	6.2%	8.6%	9.5%	7.5%	4.0%	0.0%
5	17.2%	14.8%	19.3%	16.7%	29.9%	30.8%	20.4%	16.7%	17.0%	11.3%	18.2%
無回答	5.2%	6.5%	2.6%	26.7%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	4.5%	8.5%	18.2%



### <全体結果>

「部落差別はなくなってきている」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、6割強を占めている。

前回調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、3.8%減少し、「わからない」の割合は、3.0%増加している。

### <性別・年代別>

男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は女性の方がやや高くなっている。

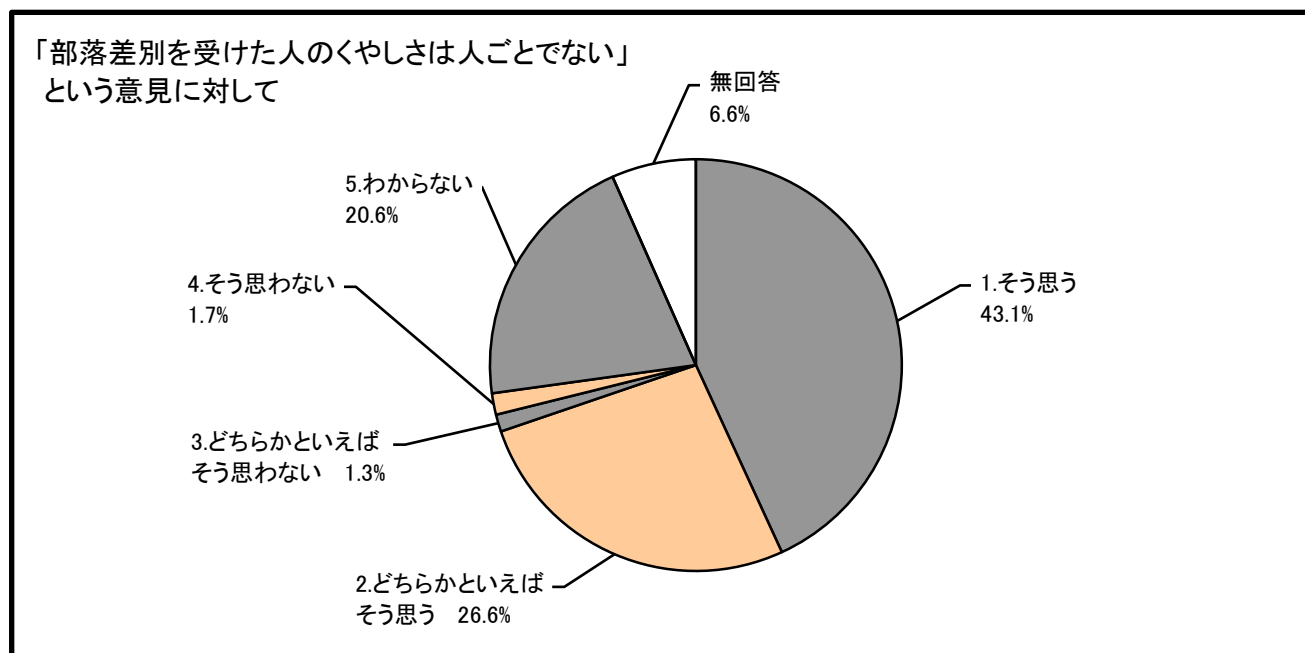
年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、70代が7割強で高く、年代が下がるにしたがいその割合は概ね減少し、20代では4割強となっている。「わからない」の割合は30代で高く、約3割となっている。

問27-2 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 部落差別を受けた人のくやしさは人ごとでない。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	43.1%	47.0%
2	どちらかといえばそう思う	26.6%	25.0%
3	どちらかといえばそう思わない	1.3%	1.9%
4	そう思わない	1.7%	1.9%
5	わからない	20.6%	18.6%
	無回答	6.6%	5.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	43.1%	44.5%	43.0%	26.7%	53.7%	33.8%	39.8%	35.7%	49.0%	43.0%	45.5%
2	26.6%	26.8%	27.2%	16.7%	26.9%	26.2%	30.1%	32.5%	27.0%	23.5%	18.2%
3	1.3%	1.8%	1.1%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%	2.4%	1.0%	0.9%	0.0%
4	1.7%	1.5%	1.7%	3.3%	3.0%	1.5%	0.0%	3.2%	1.0%	1.5%	9.1%
5	20.6%	17.8%	22.4%	30.0%	14.9%	29.2%	25.8%	24.6%	18.0%	18.9%	9.1%
無回答	6.6%	7.8%	4.6%	23.3%	1.5%	3.1%	4.3%	1.6%	4.0%	12.2%	18.2%



### <全体結果>

「部落差別を受けた人のくやしさは人ごとでない」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、約7割を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年代別>

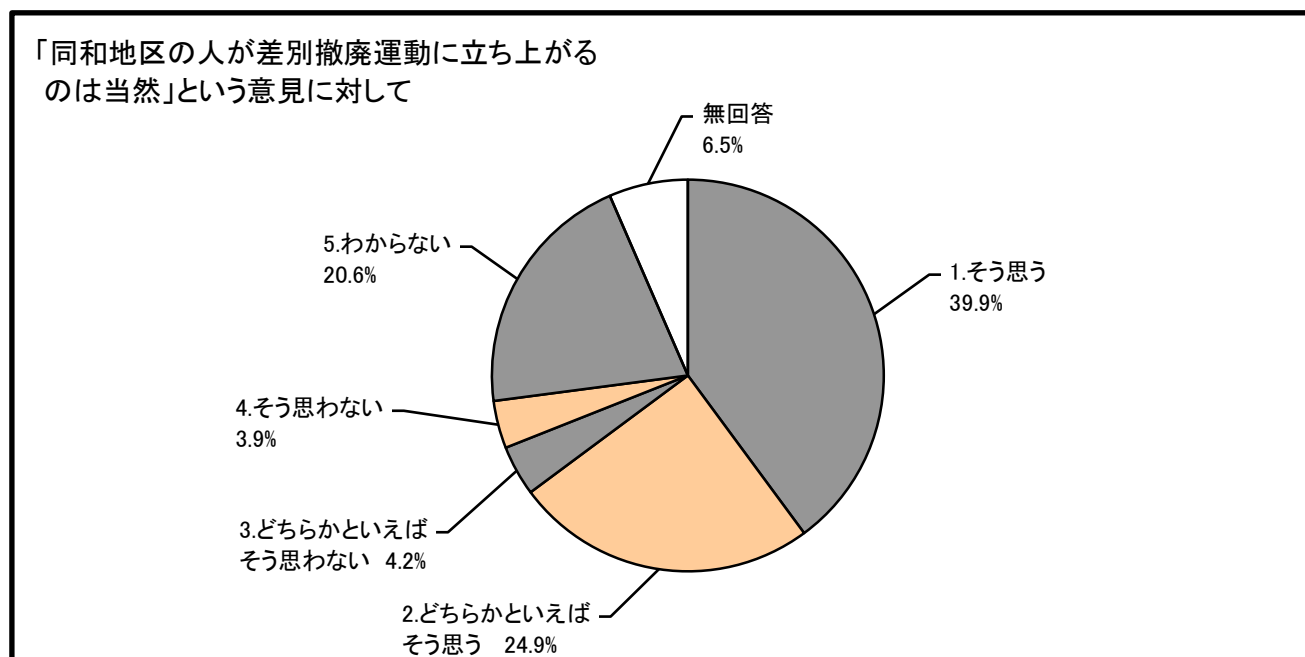
男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は男性の方がやや高くなっている。年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が8割強で高く、30代で低くなっている。

問27-3 あなたは、次の意見にどう思いますか。（〇は1つだけ）

○ 同和地区（被差別部落）の人が差別撤廃運動に立ち上がるのは当然である。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	39.9%	42.5%
2	どちらかといえばそう思う	24.9%	24.6%
3	どちらかといえばそう思わない	4.2%	5.2%
4	そう思わない	3.9%	4.6%
5	わからない	20.6%	16.2%
	無回答	6.5%	6.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	39.9%	39.0%	41.3%	30.0%	58.2%	40.0%	40.9%	34.1%	41.0%	37.2%	45.5%
2	24.9%	26.3%	24.3%	16.7%	26.9%	29.2%	30.1%	31.0%	25.0%	20.1%	18.2%
3	4.2%	4.8%	3.7%	3.3%	3.0%	4.6%	4.3%	6.3%	3.0%	4.0%	9.1%
4	3.9%	5.0%	3.0%	3.3%	7.5%	3.1%	3.2%	1.6%	6.0%	3.4%	0.0%
5	20.6%	17.5%	23.0%	23.3%	4.5%	20.0%	17.2%	26.2%	21.0%	22.9%	9.1%
無回答	6.5%	7.5%	4.6%	23.3%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	4.0%	12.5%	18.2%



#### <全体結果>

「同和地区の人が差別撤廃運動に立ち上がるのは当然」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、6割強を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年代別>

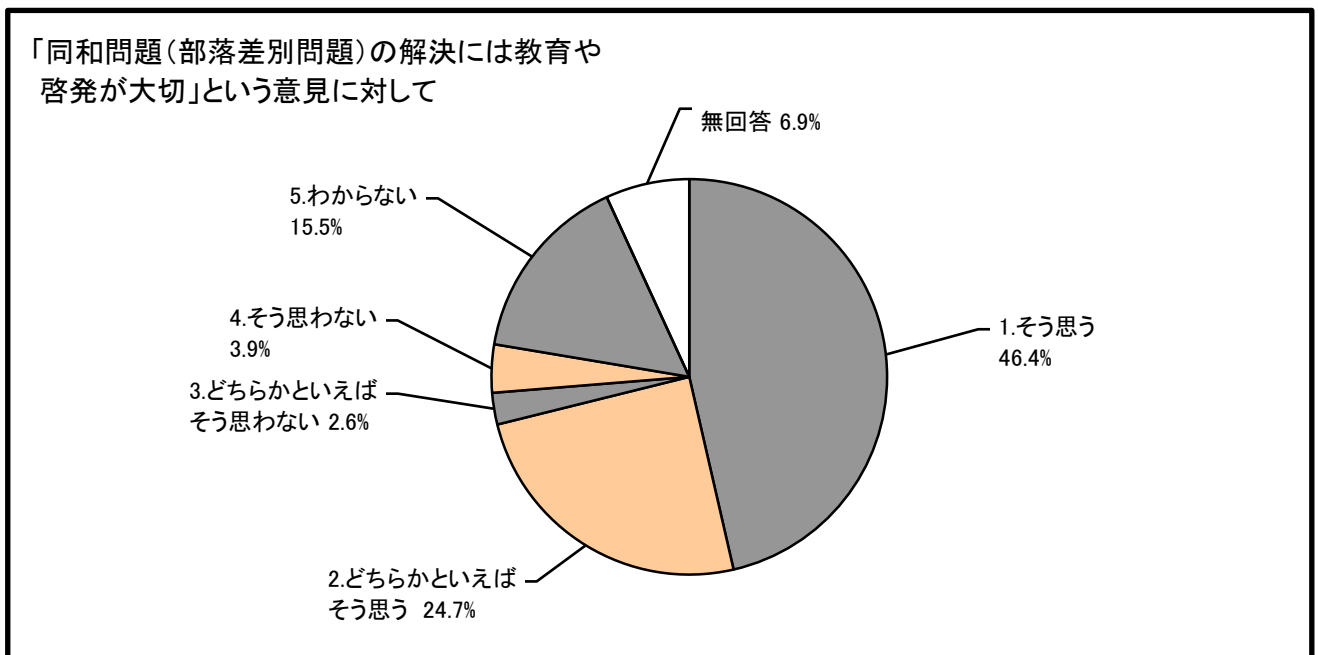
男女別では、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が8割強で高く、70代で低くなっている。

問27-4 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 同和問題（部落差別問題）の解決には教育や啓発が大切である。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	46.4%	49.3%
2	どちらかといえばそう思う	24.7%	20.3%
3	どちらかといえばそう思わない	2.6%	4.7%
4	そう思わない	3.9%	5.6%
5	わからない	15.5%	13.6%
	無回答	6.9%	6.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	46.4%	51.3%	43.3%	30.0%	58.2%	44.6%	43.0%	41.3%	51.0%	44.8%	36.4%
2	24.7%	21.5%	27.4%	26.7%	25.4%	30.8%	35.5%	30.2%	23.5%	18.6%	36.4%
3	2.6%	2.5%	2.8%	0.0%	6.0%	1.5%	2.2%	3.2%	1.5%	2.7%	0.0%
4	3.9%	4.0%	4.1%	0.0%	3.0%	3.1%	2.2%	3.2%	5.5%	4.3%	0.0%
5	15.5%	13.3%	17.2%	20.0%	7.5%	15.4%	12.9%	20.6%	14.5%	16.8%	9.1%
無回答	6.9%	7.5%	5.2%	23.3%	0.0%	4.6%	4.3%	1.6%	4.0%	12.8%	18.2%



#### <全体結果>

「同和問題(部落差別問題)の解決には教育や啓発が大切」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、7割強を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年代別>

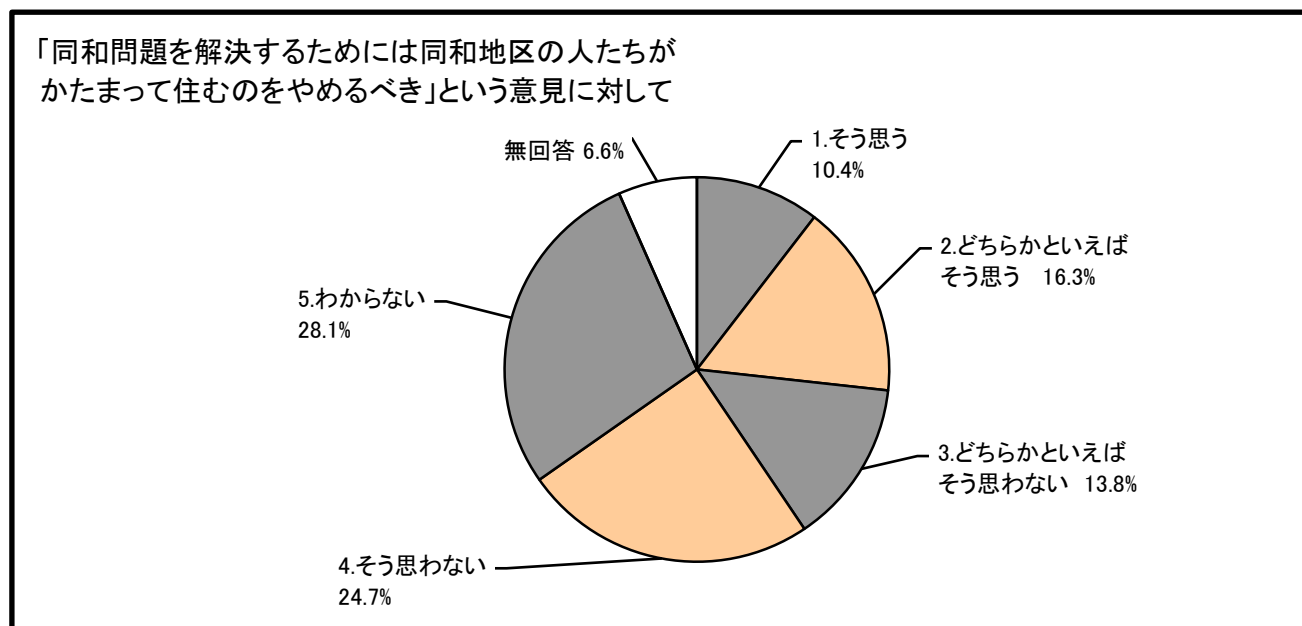
男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は男性の方がやや高くなっている。年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が8割強で高く、70代で低くなっている。

問27-5 あなたは、次の意見にどう思いますか。（〇は1つだけ）

- 同和問題（部落差別問題）を解決するには同和地区（被差別部落）の人たちが、かたまって住むのをやめるべきである。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	10.4%	12.9%
2	どちらかといえばそう思う	16.3%	21.5%
3	どちらかといえばそう思わない	13.8%	12.9%
4	そう思わない	24.7%	22.5%
5	わからない	28.1%	24.4%
	無回答	6.6%	5.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	10.4%	8.8%	12.0%	10.0%	7.5%	6.2%	9.7%	4.8%	11.0%	14.0%	9.1%
2	16.3%	19.8%	13.7%	10.0%	13.4%	15.4%	14.0%	23.0%	15.0%	15.9%	18.2%
3	13.8%	14.0%	13.9%	10.0%	22.4%	18.5%	18.3%	11.9%	11.5%	11.9%	18.2%
4	24.7%	25.8%	24.3%	16.7%	29.9%	24.6%	20.4%	31.7%	27.5%	20.4%	27.3%
5	28.1%	24.3%	31.3%	30.0%	26.9%	32.3%	33.3%	27.8%	30.0%	25.6%	9.1%
無回答	6.6%	7.5%	4.8%	23.3%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	5.0%	12.2%	18.2%



#### <全体結果>

「同和問題を解決するためには同和地区の人たちがかたまって住むのをやめるべき」という意見については、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合が高く、4割強を占めている。前回の調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、7.7%減少している。

#### <性別・年代別>

男女別では、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合は、20代が5割強で高く、40代と60代、70代で低くなっている。「わからない」の割合は30代と40代、60代で高く、3割を超えている。

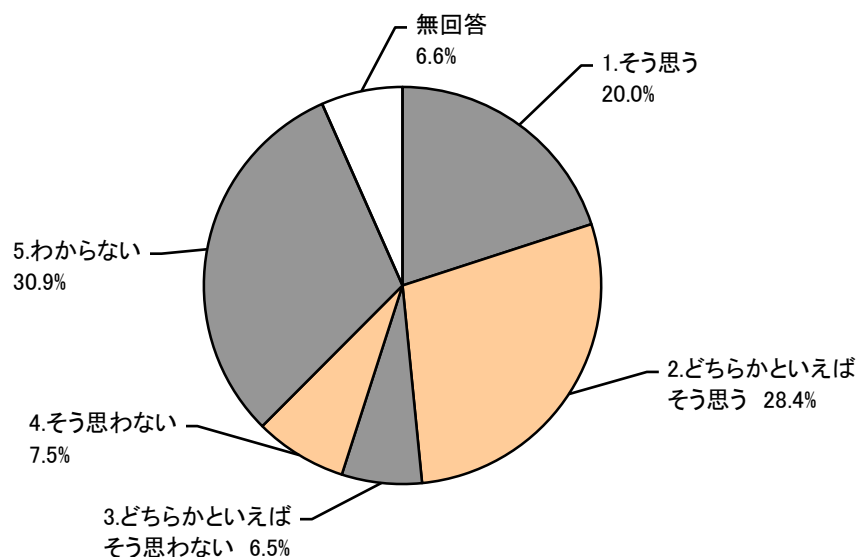
問27-6 あなたは、次の意見にどう思いますか。(○は1つだけ)

○ 部落差別をなくすためには、自分自身が積極的に向き合う必要がある。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	20.0%	28.0%
2	どちらかといえばそう思う	28.4%	27.9%
3	どちらかといえばそう思わない	6.5%	7.3%
4	そう思わない	7.5%	6.2%
5	わからない	30.9%	24.2%
	無回答	6.6%	6.4%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	20.0%	20.5%	20.7%	3.3%	22.4%	15.4%	15.1%	11.1%	15.5%	28.4%	9.1%
2	28.4%	30.8%	26.1%	33.3%	38.8%	33.8%	26.9%	29.4%	28.0%	25.0%	45.5%
3	6.5%	6.3%	7.0%	3.3%	4.5%	12.3%	5.4%	9.5%	8.0%	4.0%	9.1%
4	7.5%	8.5%	6.7%	6.7%	9.0%	7.7%	11.8%	11.1%	9.5%	3.7%	0.0%
5	30.9%	26.8%	34.6%	30.0%	25.4%	27.7%	35.5%	38.1%	35.0%	26.5%	18.2%
無回答	6.6%	7.3%	5.0%	23.3%	0.0%	3.1%	5.4%	0.8%	4.0%	12.5%	18.2%

「部落差別をなくすためには、自分自身が積極的に向き合う必要がある」との意見に対し



#### <全体結果>

「部落差別をなくすためには、自分自身が積極的に向き合う必要がある」との意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が、5割弱を占めている。前回の調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は7.5%減少し、「わからない」の割合は、6.7%増加している。

#### <性別・年代別>

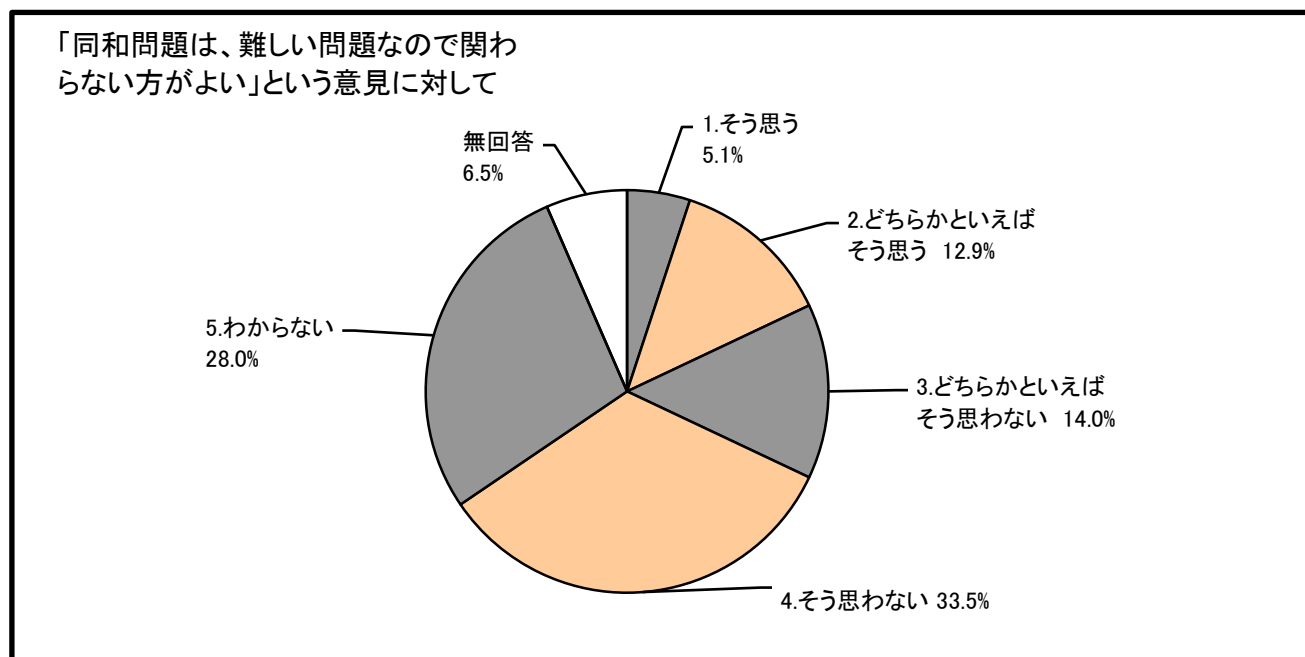
男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は男性の方がやや高く、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が6割強で高く、30代と40代、50代、60代が4割台で低くなっている。

問27-7 あなたは、次の意見にどう思いますか。（〇は1つだけ）

○ 同和問題（部落差別問題）は、難しい問題なので関わらない方がよい。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	5.1%	4.7%
2	どちらかといえばそう思う	12.9%	12.2%
3	どちらかといえばそう思わない	14.0%	15.4%
4	そう思わない	33.5%	34.5%
5	わからない	28.0%	26.7%
	無回答	6.5%	6.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	5.1%	6.0%	4.6%	0.0%	3.0%	0.0%	1.1%	4.0%	7.0%	7.0%	0.0%
2	12.9%	13.3%	12.6%	13.3%	13.4%	10.8%	14.0%	15.1%	12.5%	12.2%	18.2%
3	14.0%	14.5%	14.1%	6.7%	13.4%	13.8%	18.3%	17.5%	14.5%	11.6%	9.1%
4	33.5%	34.5%	32.8%	30.0%	58.2%	40.0%	28.0%	31.0%	33.0%	29.9%	36.4%
5	28.0%	24.5%	31.1%	26.7%	11.9%	32.3%	34.4%	31.7%	28.5%	27.1%	18.2%
無回答	6.5%	7.3%	4.8%	23.3%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	4.5%	12.2%	18.2%



#### <全体結果>

「同和問題は、難しい問題なので関わらない方がよい」という意見については、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合が、5割弱を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年代別>

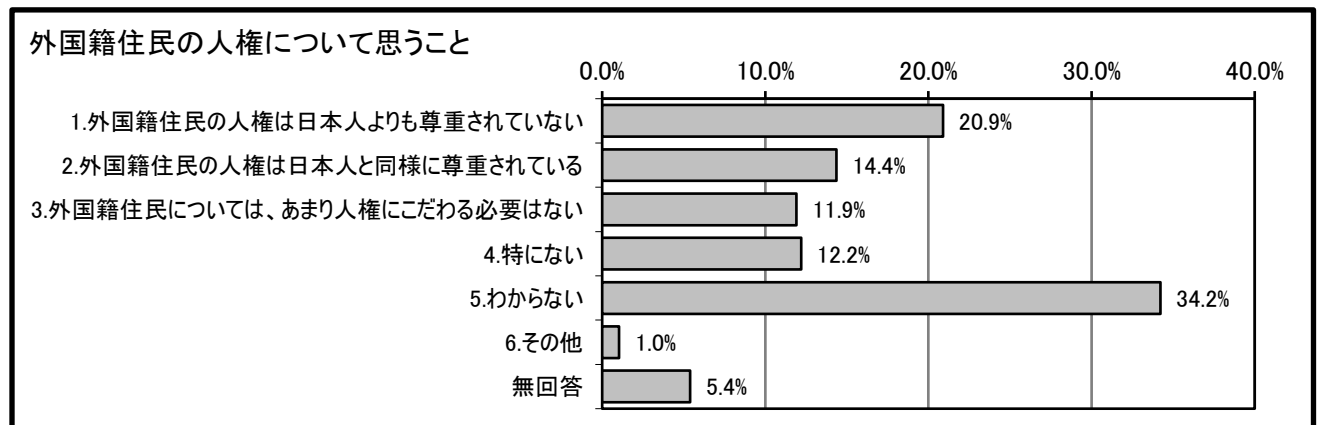
男女別では、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合は、20代が7割強で高く、40代以上で低くなっている。「わからない」の割合は30代と40代、50代で高く、3割を超えている。

## 7 外国籍住民の人権について

問28 日本に居住する外国籍住民の人権について思うことを次の中から選んでください。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない	20.9%	16.6%
2	外国籍住民の人権は日本人と同様に尊重されている	14.4%	15.8%
3	外国籍住民については、あまり人権にこだわる必要はない	11.9%	13.2%
4	特にない	12.2%	11.6%
5	わからない	34.2%	35.7%
6	その他	1.0%	0.3%
	無回答	5.4%	6.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	20.9%	22.0%	19.3%	30.0%	43.0%	26.2%	23.7%	20.1%	20.6%	14.1%	25.0%
2	14.4%	17.3%	12.7%	2.5%	10.5%	22.6%	11.0%	16.7%	14.5%	13.9%	6.3%
3	11.9%	11.8%	11.8%	15.0%	5.8%	8.3%	5.1%	12.5%	11.0%	16.0%	25.0%
4	12.2%	13.9%	11.1%	7.5%	7.0%	14.3%	17.8%	6.9%	14.0%	12.3%	6.3%
5	34.2%	28.8%	38.9%	32.5%	31.4%	27.4%	36.4%	39.6%	35.5%	33.5%	18.8%
6	1.0%	1.3%	0.9%	0.0%	1.2%	0.0%	2.5%	2.8%	0.4%	0.5%	0.0%
無回答	5.4%	4.9%	5.3%	12.5%	1.2%	1.2%	3.4%	1.4%	3.9%	9.7%	18.8%



### <全体結果>

外国籍住民の人権については、「わからない」が最も多く3割強となっている。次いで「外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない」が2割割で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年代別>

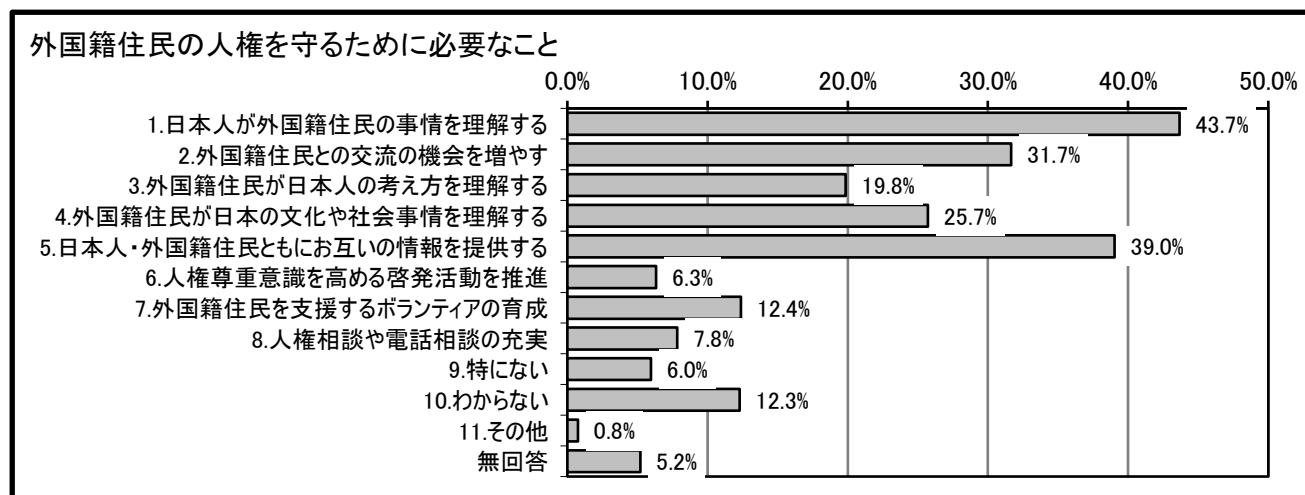
男女別では、男性は「外国籍住民の人権は日本人と同様に尊重されている」などの割合が女性よりやや高くなっているが、女性は「わからない」などが男性より高くなっている。年代別では、「外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない」は20代で、「外国籍住民の人権は日本人と同様に尊重されている」は30代で、他年代層よりも高くなっている。



問29 日本に居住する外国籍住民の人権を守るために必要と思われることを次の中からお選びください。  
(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	日本人が外国籍住民の事情を理解する	43.7%	37.5%
2	外国籍住民との交流の機会を増やす	31.7%	33.2%
3	外国籍住民が日本人の考え方を理解する	19.8%	19.2%
4	外国籍住民が日本の文化や社会事情を理解する	25.7%	26.8%
5	日本人・外国籍住民ともにお互いの情報を提供する	39.0%	35.7%
6	人権尊重意識を高める啓発活動を推進	6.3%	5.6%
7	外国籍住民を支援するボランティアの育成	12.4%	8.8%
8	人権相談や電話相談の充実	7.8%	6.7%
9	特にない	6.0%	7.6%
10	わからない	12.3%	15.7%
11	その他	0.8%	0.2%
	無回答	5.2%	7.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	43.7%	42.7%	44.5%	42.5%	52.3%	54.8%	39.0%	47.9%	38.6%	42.1%	43.8%
2	31.7%	33.5%	30.0%	32.5%	29.1%	39.3%	37.3%	34.0%	30.3%	28.3%	43.8%
3	19.8%	22.2%	18.0%	17.5%	17.4%	23.8%	16.1%	28.5%	19.3%	17.8%	18.8%
4	25.7%	28.2%	24.2%	17.5%	18.6%	27.4%	19.5%	27.8%	28.9%	26.4%	18.8%
5	39.0%	38.7%	39.5%	37.5%	39.5%	52.4%	44.1%	38.9%	40.8%	33.5%	37.5%
6	6.3%	7.9%	5.3%	2.5%	12.8%	3.6%	5.1%	8.3%	5.7%	5.8%	0.0%
7	12.4%	10.9%	13.6%	12.5%	22.1%	11.9%	15.3%	11.8%	17.1%	7.1%	6.3%
8	7.8%	6.6%	9.3%	2.5%	10.5%	6.0%	3.4%	3.5%	11.4%	8.9%	0.0%
9	6.0%	7.3%	4.5%	10.0%	3.5%	1.2%	6.8%	4.2%	5.3%	8.1%	12.5%
10	12.3%	12.2%	12.4%	12.5%	11.6%	9.5%	8.5%	11.8%	12.7%	14.4%	6.3%
11	0.8%	0.9%	0.7%	0.0%	1.2%	0.0%	3.4%	1.4%	0.0%	0.3%	0.0%
無回答	5.2%	4.5%	5.1%	15.0%	1.2%	0.0%	2.5%	0.7%	3.9%	9.9%	18.8%



### <全体結果>

外国籍住民の人権については、「日本人が外国籍住民の事情を理解する」が最も多く4割強となっている。次いで「日本人・外国籍住民ともにお互いの情報を提供する」、「外国籍住民との交流の機会を増やす」が3割台で続いている。前回調査と比べ、「日本人が外国籍住民の事情を理解する」が増加している。

### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

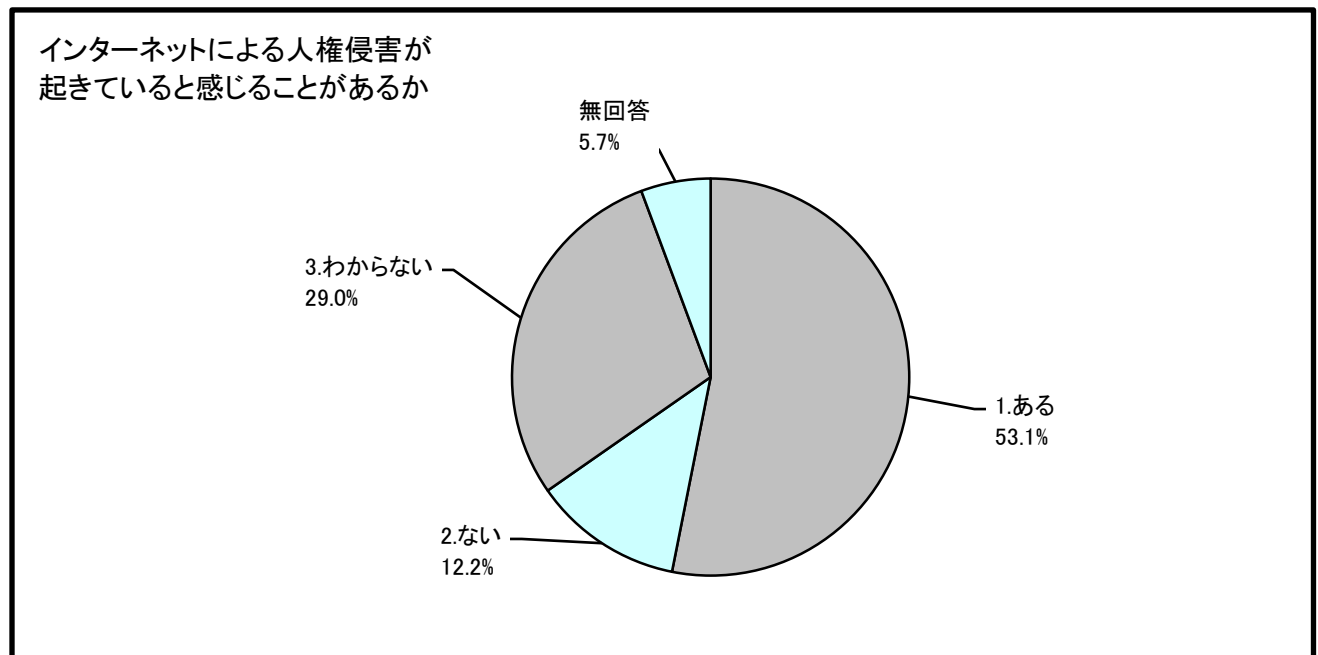
年代別では、「日本人が外国籍住民の事情を理解する」は30代以下で、「日本人・外国籍住民ともにお互いの情報を提供する」は30代で、いずれも半数を超えている。

## 8 インターネットによる人権侵害について

問30-1 あなたは、「インターネットによる人権侵害が起きている」と感じることはありますか。  
(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	ある	53.1%	32.2%
2	ない	12.2%	15.7%
3	わからない	29.0%	43.2%
	無回答	5.7%	8.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	53.1%	53.6%	53.5%	42.5%	72.1%	89.3%	75.4%	76.4%	53.1%	26.4%	25.0%
2	12.2%	15.4%	9.6%	10.0%	8.1%	1.2%	9.3%	7.6%	14.5%	16.2%	25.0%
3	29.0%	25.9%	31.3%	35.0%	18.6%	9.5%	11.9%	13.9%	29.4%	46.3%	31.3%
無回答	5.7%	5.1%	5.6%	12.5%	1.2%	0.0%	3.4%	2.1%	3.1%	11.0%	18.8%



### <全体結果>

インターネットによる人権侵害が起きていると感じることがあるかについては、「ある」の割合が、5割強を占めている。前回の調査と比べ、「ある」の割合が大きく増加し、「わからない」の割合が減少している。

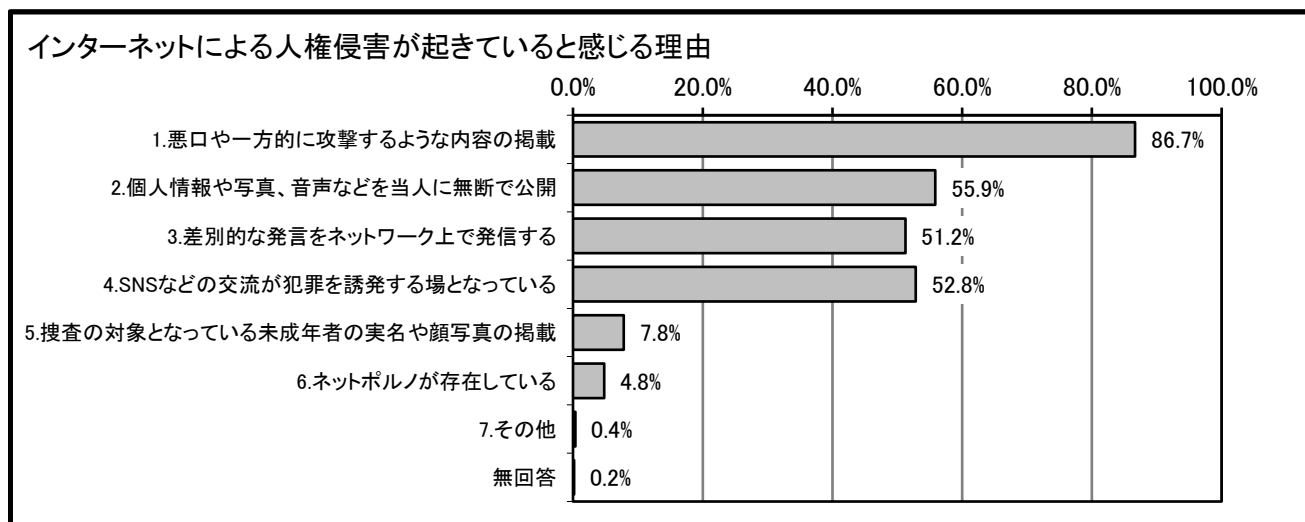
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「ない」の割合が女性より高くなっているが、女性は「わからない」が男性より高くなっている。年代別では、50代以下では「ある」の割合が7割を超え、特に30代では約9割を占めている。一方、70代では「わからない」が4割強を占めている。

問30-2 (問30-1で)「ある」と回答された方にお聞きします。次のどのようなことで、そう感じますか。(〇は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載	86.7%	76.8%
2	個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開	55.9%	55.2%
3	差別的な発言をネットワーク上で発信する	51.2%	43.0%
4	SNSなどの交流が犯罪を誘発する場となっている	52.8%	
	出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっている		43.6%
5	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真の掲載	7.8%	8.8%
6	ネットポルノが存在している	4.8%	12.8%
7	その他	0.4%	0.9%
	無回答	0.2%	0.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	562人	251人	294人	17人	62人	75人	89人	110人	121人	101人	4人
1	86.7%	85.3%	87.4%	94.1%	80.6%	90.7%	89.9%	89.1%	87.6%	80.2%	100.0%
2	55.9%	52.6%	58.2%	64.7%	62.9%	69.3%	64.0%	58.2%	46.3%	44.6%	25.0%
3	51.2%	56.6%	46.6%	52.9%	51.6%	54.7%	47.2%	50.9%	57.9%	44.6%	50.0%
4	52.8%	55.4%	51.0%	47.1%	48.4%	33.3%	40.4%	55.5%	62.0%	67.3%	50.0%
5	7.8%	5.6%	9.2%	17.6%	9.7%	8.0%	5.6%	9.1%	6.6%	7.9%	25.0%
6	4.8%	4.0%	5.4%	5.9%	1.6%	2.7%	5.6%	3.6%	5.0%	7.9%	25.0%
7	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.0%	0.0%
無回答	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%



### <全体結果>

インターネットによる人権侵害が起きていると感じる理由については、「悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載」が最も多く9割弱となっている。次いで「個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開」、「SNSなどの交流が犯罪を誘発する場となっている」、「差別的な発言をネットワーク上で発信する」が5割台で続いている。前回調査と比べ、「悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載」、「差別的な発言をネットワーク上で発信する」が増加し、「ネットポルノが存在している」などが減少している。

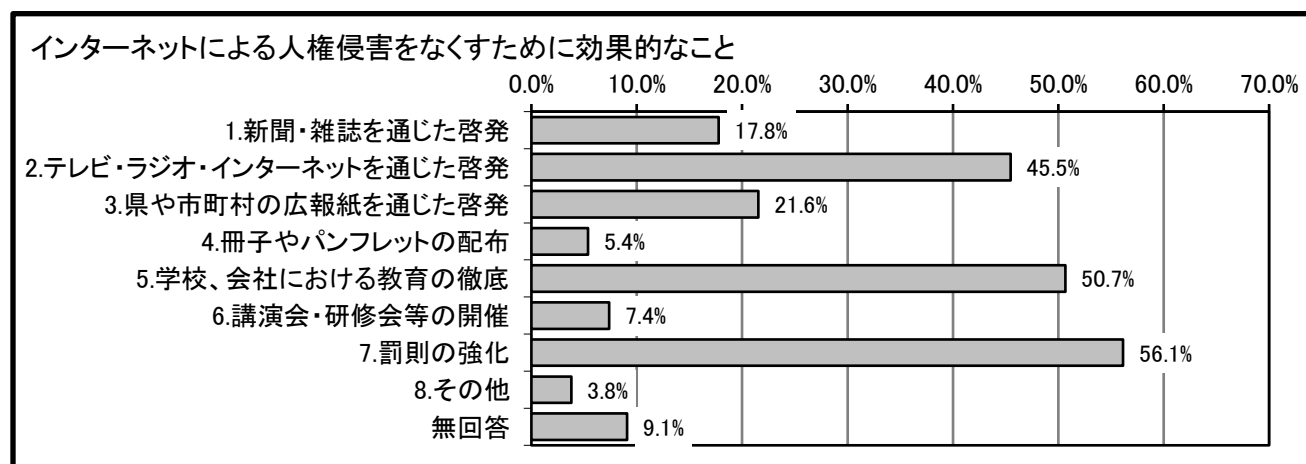
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「差別的な発言をネットワーク上で発信する」などの割合が女性より高くなっているが、女性は「個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開」などが男性より高くなっている。年代別では、「悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載」は各年代で最も割合が高くなっているが、30代では約9割を占めている。「個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開」は20代と30代、40代で、「SNSなどの交流が犯罪を誘発する場となっている」は60代と70代で、他年代層よりも高くなっている。

問31 インターネットによる人権侵害をなくすために、どのようなことが効果的だと思われますか。  
次の中からお選びください。(〇は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	新聞・雑誌を通じた啓発	17.8%	20.3%
2	テレビ・ラジオ・インターネットを通じた啓発	45.5%	42.8%
3	県や市町村の広報紙を通じた啓発	21.6%	23.7%
4	冊子やパンフレットの配布	5.4%	5.4%
5	学校、会社における教育の徹底	50.7%	42.3%
6	講演会・研修会等の開催	7.4%	7.5%
7	罰則の強化	56.1%	38.8%
8	その他	3.8%	1.9%
	無回答	9.1%	17.3%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	17.8%	18.8%	16.9%	17.5%	5.8%	10.7%	15.3%	15.3%	18.0%	23.6%	18.8%
2	45.5%	46.2%	45.3%	40.0%	36.0%	42.9%	39.8%	50.0%	52.6%	43.5%	56.3%
3	21.6%	22.2%	21.5%	15.0%	10.5%	8.3%	13.6%	13.2%	30.7%	27.2%	18.8%
4	5.4%	6.2%	4.5%	7.5%	0.0%	2.4%	2.5%	3.5%	3.9%	9.7%	6.3%
5	50.7%	49.6%	52.4%	40.0%	59.3%	69.0%	59.3%	59.7%	54.4%	37.4%	25.0%
6	7.4%	7.9%	7.1%	5.0%	14.0%	3.6%	6.8%	6.9%	3.5%	9.4%	6.3%
7	56.1%	61.1%	52.2%	52.5%	72.1%	77.4%	68.6%	68.1%	63.6%	35.9%	37.5%
8	3.8%	4.1%	3.6%	2.5%	4.7%	4.8%	5.1%	6.9%	0.9%	3.7%	0.0%
無回答	9.1%	7.5%	9.6%	20.0%	1.2%	0.0%	2.5%	2.8%	6.6%	17.8%	31.3%



### <全体結果>

インターネットによる人権侵害をなくすために効果的なことについては、「罰則の強化」が最も多く6割弱となっている。次いで「学校、会社における教育の徹底」が5割台、「テレビ・ラジオ・インターネットを通じた啓発」が4割台で続いている。前回調査と比べ、「罰則の強化」が大幅に増加している。

### <性別・年代別>

男女別では、男性は「罰則の強化」などの割合が女性より高くなっている。  
年代別では、「テレビ・ラジオ・インターネットを通じた啓発」は50代と60代で、他年代層よりも高くなっている。また、「罰則の強化」の割合は20代と30代が高く7割を超え、70代の割合が3割台と低くなっている。